

尚 和 会 報 2014

平成26年5月1日

思い出とともに広がる同窓の輪



母校正門附近の桜

尚和会総会のご案内 平成26年5月18日（日）

ホテルアイボリーにて（豊中駅東口すぐ ☎06-6849-1111）

- ◆総 会 オークッドホール ... 12:00~12:45
- ◆アトラクション「落語家 桂 吉弥 師匠」..... 13:00~13:30
- ◆懇親会（食事はシットイング・buffestail ... 13:35~15:30
- ◆お楽しみ抽選会
- ◆会費 4,000円（2010年高62期、定60期以降の卒業生は2,000円）

アトラクション出演者



「上方落語の たのしいひととき」

地元・豊中市出身

落語家

桂 吉弥 師匠

プロフィールは7頁をご覧ください。

Contents

尚和会会長・校長ごあいさつ.....	2
学校だより.....	3
母校クラブだより.....	6
尚和会通信・各期連絡先.....	10
役員紹介.....	11
尚和会決算・予算報告.....	11
尚和会理事・評議員名簿.....	12
同期会報告.....	13
投稿記事.....	17
同期会開催予告.....	19
お便りから.....	20
平成25年度 新年理事会、評議員会報告 ...	24
教職員人事異動.....	24
物故者芳名簿.....	24
平成25年度会報代・協力金	25
平成25年度総会・懇親会	28

発行——尚和会

発行責任者 大畠 光昭（高15期）

編集責任者 大岩 正明（高19期）

会長挨拶 「四期目を迎えるにあたって」



尚和会会長
大島 光昭
(高15期)

春陽のみぎり、尚和会の会員の皆様には益々清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、去る三月の理事会・評議員会にて皆様のご推挙を得まして、平成二十六・二十七年度の会長に就任いたしました新役員と共に母校の益々の発展に寄与したいと考えています。

今年も二月の卒業式に参列し、新たに全日制（六六期）から三五二名、定時制（六四期）から三三名計三八五名の新たな仲間をお迎えすることが出来、卒業生総数は三万七千名近くに至るまでになりました。歴史ある桜塚高等学校の同窓会「尚和会」は世代を超えての交流促進や生徒支援を今後も末永く続けていく所存です。

さて、平成九年に設立されました東京支部も北村正和支部長（高十四期）の下、組織体制も強固になり、支部エリヤも一都一〇県にまで拡充され、会員数もおよそ千七百名の大組織になり、一昨年の支部総会には異例の百名を超える参加者があり大盛況でした。

また、昨年に、府下の中学三年生を対象に府立高校百五十三校で学校見学会が開催され、学区制が撤廃された今年からはどの高校にも受験可能になり、アンケートの結果、わが母校が「行きたい高校」のナンバーワンに選ばれたという人気度を得たことはこの上ない朗報でした。

三年後の平成二十九年は母校創立八〇周年にあたり、早速準備委員会を発足させ、この記念事業を成功すべく邁

進いたしたいと思っています。

どうか今後共、尚和会の運営活動に対し、ご指導ご鞭撻並びにご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

ご挨拶



校長

加藤 孝之

尚和会会員の皆様には各方面でのますますのご活躍、お慶び申し上げます。また、平素は桜塚高校の教育活動にご理解とご協力そしてご支援を賜りありがとうございます。

本校では昨年度から「めざす学校像」として「多文化社会に生きるリीडャーの育成」をミッションとして掲げています。このミッション実現のために様々な取り組みを進め、学富力をつけてまいります。様々な取り組みの中では、昨年度から「海外語学研修」を



校章デザインの卒業祝菓子



始めています。今年の3月21日から3月31日までの11日間の日程で、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ周辺へ「海外語学研修」に行ってきました。3月31日に元気に帰国しました。桜塚高校で初めての「海外語学研修」でした。2月の末に卒業した3年生11名も含めて27名の生徒たちが参加しました。豊中市との姉妹都市関係にあるサンマテオ市へも表敬訪問を実施し、浅利豊中市長からの親書をサンマテオ市のロス市長へお渡ししました。また、サンマテオ市にあるアラゴン高校と学校交流を実施し、一緒に授業を受けたりし親睦を深めました。

アメリカでは英語の学習を行うことをメインにし、その他、様々なアクティビティを通じ経験を積み、生徒たちはそれぞれ現地の家でホームステイをして過ごしました。今回の「海外語学研修」を実施するにあたり、尚和会様からご支援をいただきました。ありがとうございました。また、参加する生徒に向けて7期生の加藤恵美子様が



ら豊富な海外ホームステイ経験に基づいてのご講演をしていただきました。生徒たちにとっては、とても勉強になりました。

また、学習面では今年度からは教育課程の改定を行い、修得単位数を年間32単位から33単位に増やしました。この4月からは生徒の学力と集中力を更に向上させる為に、「朝学」を全学年で行います。月曜日から金曜日までの5日間、朝8時20分から10分間のモジュール授業を行い、1週間で1単位を認定します。その内容は英語、数学、国語を中心に基礎的・基本的な学力を継続的に鍛え、確実な定着充実に努めます。そして進路実現、特に大学等進学面での一助にしたいと考えています。

桜塚高校はお陰様で中学生からの人気も高く、昨年行われた進路希望調査において、全府立高校の中で人気NO.1になることもありました。今年度の入試でもたくさんの中学生在が志願してくれました。今後もこの人気に胡坐をかかことはせずに本校の良さをどんどん進化させていきたいと考えております。

最後になりましたが、今後の桜塚高校のますますの発展の為に、教職員一同引き続き誠心誠意努力してまいりますので、尚和会会員の皆様には変わらぬご協力とご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

夜桜ニュース



定時制の課程
准校長 大崎 年章

尚和会の皆様、平素は定時制の課程にご協力を賜り誠に有難うございます。私が夜桜に赴任して早一年が経ちましたが、昨年度の夜桜での2つの動き

を御紹介致します。

まず、府教委の「学校経営推進費」事業で26校中の一つに選ばれたことです。その結果、最新型のプロジェクトが10教室の黒板の上に設置されました。定時制の授業間の休憩時間は、5分間と短いのですが、この機器のお陰で、教師が毎回ICTの機器やスクリーンの設置にあたふたする必要がなくなり、メモリー等で直ぐに授業が始められるようになりました。また、私のような素人には全くチンプンカンプンですが、黒板にはパソコンと同じ画面が写っており、驚くことに特殊なペンで黒板をタッチすると、画面がパソコンのように反応するのです。生徒達には言葉で理解し辛かった内容が、視覚から入ることで理解に役立つことを願っています。

2つ目は外国人教師の配置についてです。従来、定時制には外国人講師はいませんでした。ところが、昨年6月に中原教育長との面談があった際に「将来、海外で羽ばたく可能性を秘めているかもしれない生徒達に対して、Native Speakerを配置しないのは、全





日制と比較して不公平ではないか」と訴えたところ、急遽9月以降に配置でどうかとの打診がありました。その結果、夜桜に2日間、寝屋川（定）に3日間 Native Speaker が配置されることになりました。生徒達には好評で82%以上の生徒が、Native Speaker との授業を再度受けたいとアンケートに答えていました。これを契機に、26年度も夜桜を含めて、定時制の3校に Native Speaker が配置されることになりました。

以上のように定時制では、身近な目標を実現させ、一步一步前進を続ける所存です。どうか尚和会の皆様には、今まで同様、定時制の課程へのご支援、ご協力の程をよろしくお願いいたします。

学校だより

66期生の卒業式を終えて

学年主任 木本 直子

平成26年2月28日、桜塚高校第66回卒業式が挙行されました。私たち担任団と生徒たちは、厳粛な中にも感動的な心に残る式を、との思いで準備を進めてきたのですが、当日はその思いが形となって結実したと思います。村岡良亮君の答辞、卒業記念品として寄贈した大型電動スクリーンに映し出され

た思い出の映像の数々、卒業生全員で元氣よく歌ってくれた「3月9日」。どれも感動的でした。

今から3年前の4月、私たちは中学校を卒業したばかりの彼らを新入生として迎え、3年後には人間として少しでも成長した姿で桜塚高校を送り出したいと願いました。そのために少しでも役に立てたらという思いで指導し、見守ってきました。いろいろな出来事があり、時にはぶつかることもありましたが、どんな時も言葉を尽くして思いを伝え、生徒たちも私たちの思いを受け止めてくれたと信じています。どこまで力になったかはわかりませんが、彼らの成長は、勉強に取り組む姿勢やクラブ活動や体育祭・文化祭など、さまざまな場面で目にする事ができました。

桜塚高校での3年間で、今後の人生を生きていくための力を彼らの中に少しでも形成したのであれば、この上ない喜びです。

さあ、仕上げへ

67期生 2学年主任 桑田 誠

2年前に入学した67期生もこの春3年となりました。昨年は台湾へ修学旅行へ行き、多くの不安を消し去るうちに中正高級中学校との交流をしました。短い時間でしたが、お互いにわかり合い、泣きながら別れたシーンが思い出されます。香辛料に苦しんだ人もおり、それはそれでよい思い出になったのではないのでしょうか。

部活動においても部の中心として、結果を残せたクラブ、そうでないクラブはありましたが、試行錯誤を繰り返しながら成長していったと思います。学習面においては、特に3学期ぐらいから「ぼちぼちやばい」と気づいた人も多くなり、積極的に取り組むように

6.



5.



1.

2.



3.

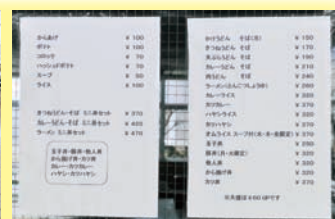
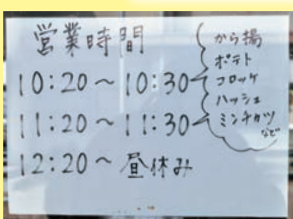


4.



校内点描 (今春4月春休み中撮影)

1. 正門付近の満開の桜
2. 「若者」像
生徒通用門から入った校舎ロッカールーム入口前にあるこの像は、高15期生有志が卒業記念に製作。創立70周年記念事業の一環として修復にかかり2007年11月完成し翌年2月15日除幕式で披露されました。この像のように遅く桜塚高生が育ちますように！
3. ロッカー兼足箱
コインロッカー？ ダイヤル式施錠で、昔のように想いを寄せた人にそっと恋文を入れることはもう不可能。今はスマホの時代なんですね。
4. ダンス部の練習
全国大会にも数度出場実績のある部です。
5. 学生食堂
撮影者の通学時代（昭和30年代）は、旧校舎講堂の地階の薄暗い場所にあり、メニューはうどん、中華そば、菓子パンと瓶入り牛乳程度のものでした。あの頃のメニューとは隔世の感があります。現在の食堂の2階が私達の活動拠点の尚和会議室（通称尚和会館）です。内部は明るく、テラスのテーブル、ベンチも桜の樹の下にあり、夕刻は定時制課程の生徒にも利用されています。自販機も3台設置。
6. 尚和会館
会館内でもダンス部が練習中でした。
1978年（昭和58年）の新校舎完成に伴い新尚和会館落成。以降会館表示が無きまま36年が過ぎ、この4月に新しく桜の樹から製材した大きな表示板が完成し会館北側入り口に取り付けられました。
揮毫は、現第11代会長高15期大島光昭



なってきました。これを持続して、くればよいと思います。

われわれ教員もできるだけサポートしていききたいと思います。

いろいろな選択をしていかなければならない学年となりましたが、自己の進路実現に向けて努力してくれるものと信じています。悔いの残らない高校生活にしてください。

64期生の卒業を迎えて

平松 優亮

第64回卒業式が終わっても忙しく2週間ほどが過ぎたころに在校生の終業式がありました。去年までは賑やかな生徒たちに久しぶりに会いあいさつを交わして卒業生がいなくなった分広くなった体育館を目の当たりにして年度の終わりを感じていました。しかし今回は自分が担任した学年は卒業を迎え、それぞれの道に進んだのもうその場に集まることはありません。感じたのは「年度の終わり」ではなく「さみしさ」でした。

思い返してみれば今回卒業していった生徒たちが一年生で入学してきたときは、良い意味でも悪い意味でも、稀に見る元気な学年でした。毎日のように生徒たちと話し合い、時にはぶつかり合い、悩みを聞き、笑いあいました。その中で卒業していった子供たちは本当に成長をして入学したときとは全く違う人間になって自らの道を歩み出せたと思っています。また、夜間定時制の学校ということではいろいろな事情のある人がいました。今回卒業した64期生に限らない話ではありますが、彼らはとても元気であるとともに非常に優しい生徒が多かったように思います。不自由な部分があれば助け合い、年長の生徒は年齢の離れた子供のような生徒たちの模範となり、年下の生徒たち

もそういった触れあいを嬉しがっていたように見えました。自分が教員として指導する場面も当然ありましたが、自分たちで成長していける潜在的な力を持った生徒たちでした。

実は64期生は私が社会人一年目として本校に赴任してきて初めての担任学年でした。本当に社会人としても教員としても右も左も分からない状態でした。「あの時こうしていれば良かった」というようなことは山のようにあります。

しかし彼らと一緒に過ごした四年間で私自身も非常に成長できたんじゃないかなと感じています。それは間違いないその四年間があるからで私にとつては一生の中でかけがえのない時間です。本当に彼らの担任であったことを誇りに思います。

最後に、卒業していった生徒たちは本当に私にとって大切な生徒たちです。これからもいろいろ大変なことがあると思いますが、彼らの幸せな人生を願わずにいられません。また会う日を楽しみにしています。

今春の
進路状況について

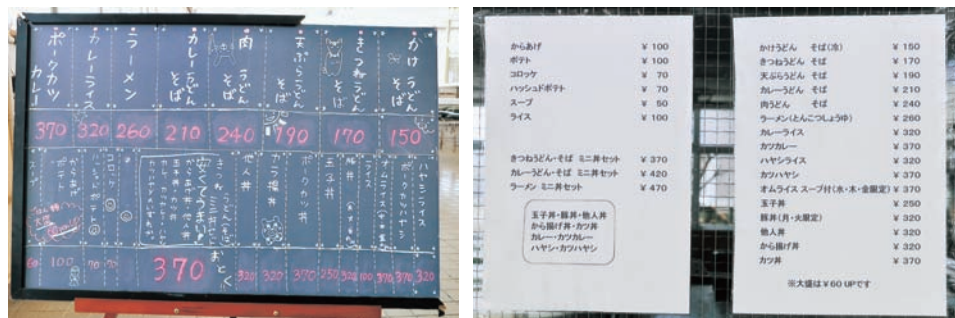
進路指導部長 大西 伸世

今春卒業した六十六期生も、長期にわたる入試の日々を最後までよく健闘し、多くの生徒が希望進路を実現しました。また、就職希望の生徒も粘り強く頑張り、目標を達成しました。

昨年度は進路閲覧室と図書室に自習用の個別ブースが新設され、昼休みや放課後に黙々と勉強に取り組む生徒の姿も数多く見られました。

合格状況は以下のとおりです。

二〇一三年度入試合格者数(浪人・推薦含む)	
国立大学	主な私立大学
大阪大学	関西大学
北海道大学	関西学院大学
大阪教育大学	同志社大学
奈良教育大学	立命館大学
鳴門教育大学	甲南大学
長崎大学	龍谷大学
大阪市立大学	京都産業大学
兵庫県立大学	近畿大学
高知工科大学	摂南大学
	神戸学院大学
	武庫川女子大学
	甲南女子大学
	大阪経済大学
	大阪工業大学
	関西外国語大学
	仏教大学
11	31
16	22
23	48
13	15
119	22
34	24
20	13
30	86



食堂メニュー

豊中応援寄附金



～ がんばるとよなかを応援してください ～

【 寄附金の活用については、
10 項目の寄附メニューからご指定いただけます 】



詳しくは QR コードから もしくは『 ふるさと納税 豊中市 』で検索

ご寄附の申込・お問い合わせ

豊中市 財務部財政室 〒561-8501 大阪府豊中市中桜塚 3-1-1 (第一庁舎 3 階)
電話 06-6858-2799

桜塚高校・尚和会共催 「しだれ桜」鑑賞会 地域の皆様とともに

副会長 高33期 崎阪 治

本年度の「しだれ桜」鑑賞会は、去る4月5日（土）に開催いたしました。一昨年に初めて開催し、昨年は天候に恵まれず中止となり、今年度も天候が危ぶまれましたが前日までの雨も上がり、曇天の中にも少しの日差しにも恵まれ、無事に終了することが出来ました。今年度は一昨年の正門前に加え、中

庭の恩露園・恵風苑も開放して行いました。

肝心の桜は、前日の風雨で少しピークを過ぎた感はありませんでしたが、立派な日本庭園と相まってまだまだ十分に見応えのあるものでした。

午前10時、加藤校長、大畠会長の挨拶に続き、軽音部のお点前、箏曲部の演奏の協力を得て進行了しました。

玄関受け付けでは、来場者にお茶菓子券、お子様連れには駄菓子子の袋詰めセットの引換券をお配りし、同時に学校の先生のご厚意により、しだれ桜の

下で写真を撮り、お帰りの際に写真をお渡しするというサービスもあり、大変好評をいただきました。アイデアに感謝です。

少し肌寒さを感じる中、母校に約半世紀在籍され95才になられた井上まさ先生をはじめ卒業生やご近所の方々など午前中は約100名の来場があり順調に折り返し、午後と同じく約100名、合計約200名のご来場をいただきました。午後2時に予定通り無事終了いたしました。

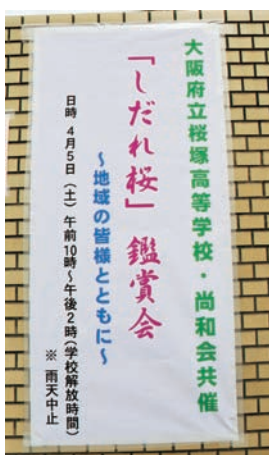
後片付けも一段落し、先生方や我々



岩手県立大槌高等学校との協定



受付中



大畠会長挨拶



加藤校長による開会挨拶



茶道部のお点前



オープニングは軽音楽部から



お孫さん連れの卒業生も



茶道部員による接待



箏曲部による演奏



恵風苑

役員もほっと一息ついたところでもまた雨が降り出し、天も母校の桜に遠慮してくれたような素晴らしい1日でした。来年度以降も恒例行事として開催する予定でありますので、桜の時期には是非母校へと頭の片隅においていただければ幸いです。

（今年度より尚和会副会長を拝命いたしました。）

私は、高32期で入学しましたが、母校の優秀さについていけずに落ちこぼれ、すさんだ学生生活を送る中、私自身のみならず先生方や同期生の誰もが皆さんより短い期間で桜塚を去るだろうと思っていました。なぜか一緒に入学した皆さんより1年長く母校に在籍し、高33期として尚和会にも入会させて頂きました。

そんな私が、どういう訳か今年度より尚和会副会長をさせて頂いたことになりました。

甚だ不適任だとは思いますが、皆さんより長く母校に在籍させて頂いたこと、そして尚和会入会まで温かく見守っていただいた母校に感謝し、この大役を全うさせて頂いたことが頑張らせていただきたかと思っております。

全く力不足ではあるかと思いますが、精一杯の恩返しをさせて頂いたかと思っておりますので、どうぞよろしく願っています。

そんな私の初仕事として、「しだれ桜」鑑賞会の運営に参加させて頂いたこと、報告をしたためさせて頂いた役割をいただきました。）



母校クラブだより

ESS

ESSは現在2年1名1年4名の女子計5名で活動をしています。部員はみんな英会話・英語が大好きです。

毎週火曜日に活動をしています。

英語の発音の習得の為に春には英語の曲を皆で歌いました。

H25年度の文化祭では英語で学校紹介ビデオを作成しました。

ハロウィンやクリスマスには外部の生徒を招待してパーティーを行いました。

又、大学主催の学校スピーチコンテストなどに進んで参加しています。日々楽しく活動しています。

イラストレーション部

会計 伊輪 萌夏

イラスト部は上下関係がそれほど厳しくなく、和気藹々としています。最髙学年だった先輩方が引退してから部員数が減り、二六年二月現在、部員は二年生二人、一年生七人の計九人で構成されています。人数の減少により部員の繋がりは深まりましたが、原稿のメ切破りなどに頭を悩ませています。他には足りなくなっていた画材の補充や、部員の要望により水彩色鉛筆を購入しました。

サッカー部

部長 柳原 圭嗣

今のサッカー部の状況は、3年16名、2年8名、マネージャー2名の合計26名となっています（4月1日現在）。平日は練習があり、土曜日、日曜日は主に試合があります。平日の練習は、自分たちだけで練習して、土曜

日、日曜日には外部指導者のコーチの方が来てくれて指導をしてもらっています。

桜塚サッカー部のいいところは、上下関係があまりなく、仲がいいことです。みんなが楽しくサッカーができるとてもいい部活です。

バドミントン部

部長 白石宇克佳

副部長 2年生 田中 智美

現在バドミントン部は女子17人、男子7人で毎日練習に励んでいます。

各々、目標を持って練習することで、それぞれ満足のいく試合ができるようになってきました。大阪府大会（公式戦）において、夏の団体戦では女子が4回戦まで勝ち進み、昨年まではたった2名だった男子も今年度からは団体戦にも出場できるようになり、試合への意気込みも増しました。また、冬の個人戦では2年生の女子がⅡ部優勝を果たし、Ⅰ部昇格となりました。これからも日々努力し、笑顔あふれる部活動にしていきたいと思っています。

ラグビー部

副部長 鹿野 秀仁

僕たちラグビー部は

2年生 2人
1年生 15人

マネージャー 3人

で活動しています。

試合ではまだ一度も勝っていませんが毎日限られた時間の中で一生懸命練習しています。

部員を増やして、実践的な練習をして、試合に勝つことが目標です。

OBの方はいつでもお待ちしております。

家庭科部

2013年度は3年生5人2年生6人1年生1人で活動をしていました。

いつもは金曜日の放課後に料理をするクラブですが文化祭の時は手作りのクッキーを販売するので、頻繁に集まって、考えたクッキーのレシピを実際に作って、やり直しの繰り返しをしていました。文化祭当日に200袋を完売した時、安堵したのを覚えています。人数が少ないですが、いつも話し声が絶えず、和気あいあいとしたクラブです。

軽音楽部

顧問 久谷 秀明

昨年度は地域行事や同窓会、軽音楽部連盟主催ライブや自校・他校でのライブ等、合わせて年間50本ほどのライブに参加、または企画しました。3年前に岡町・桜塚商店街応援ソング「おかまち桜いろ」、2年前に豊中市をテーマにした「アンカー」僕らの町 豊中」、そして昨年はさくら協定チームソング「さくらいろの約束」と、毎年テーマソングの制作に取り組んできました。これからの軽音楽部の活動にもご期待ください。

剣道部

部員 平野 真穂

私達、剣道部は現在、1、2年生合わせて10名で活動しています。経験者が少なく、又、部員数も少ない状況ですが、全員が毎日休むことなく稽古に励んでいます。その結果は徐々に出てきており、三段2名、二段3名、初段5名と全員有段者であります。クラブの目標はインターハイ出場を合言葉にして厳しい稽古を行っています。活動時間は平日では昼と放課後の2部練習、休日や長期休暇期間には午前中4

時間〜5時間位練習を行って夢実現を目指しています。今、部の悩みは、部の入部者が少なく、団体戦（5名戦）が組めない状況であるので、いかにして部員を増やす？と模索しているところです。

柔道部

主将 杉池 佑太

柔道部は顧問の先生と一緒に週に六日、クラブ活動をしています。

五月頃までは四名が在籍していましたが、現在は二年生二名で活動しています。

昨年度は団体戦の出場はありませんでしたが夏の大会の個人戦では二回戦に進んだ部員もいました。

また、他校との合同練習も行っていて、北野高校や豊島高校と練習をしました。

人数的に厳しいこともありますが、一生懸命練習に励んでいます。

女子バスケットボール部

キャプテン 道本 菜月

私たちは、2013年度、67・68期合わせてプレーヤー19名、マネージャー12名の計21名で活動しました。とても人数が増え、充実した練習を行っています。夏には鳥取県に行き、さまざまな高校との合同合宿を行いました。そして秋の豊中市会長杯では準優勝を勝ち取ることができました。大阪ベスト16に入ることを目標に掲げ、みんなで励ましあいながら頑張っています。これからも桜塚女子バスケットボール部の応援をよろしく願います。

女子バレーボール部

67期部長 松原 彩花

顧問 平澤 泰樹

私たち女子バレーボール部は現在2

年生11名、1年生6名、計17名で活動しています。経験者も未経験者も在籍しています。

限られた時間のなか効率の良い練習を行い、一つ一つの技術を高めています。また練習試合を毎週のようにさせてもらい、ゲーム終えるごとに自分たちで反省し次に生かすことを繰り返しています。

これらの結果、複数の大会で優勝や準優勝しています。

今後も練習に励み、皆さまに良い報告ができるよう努めます！

女子ハンドボール部

顧問 桑田 誠

66期生が卒業しました。この学年は人数も少なく部員の出入りもあった方ですが、まとまりがありました。夏の大会では私立の強豪校を相手に接戦を演じ、11月の豊中市民大会では久しぶりに3位に入りました。3月の高知合宿ではほとんど負けませんでした。残念ながら大阪中央大会には進出できませんでしたが、先輩、後輩とも仲が良く、楽しく悔いのない部活生活を送れたのではないかと思います。

吹奏楽部

セクションリーダー 鋳田 涼香

「吹奏楽部は現在人数が少ない中、毎日楽しく協力し合って活動しています。主な活動として学校行事・地域の演奏会・吹奏楽コンクールなど様々な舞台で演奏させて頂いています。中でも3年生との最後の舞台となる定期演奏会は、部員一丸となりその年ごとに特色を出せるよう工夫を凝らしています。どの演奏会もお客様に楽しんで頂けるように趣向を凝らしているのです。ぜひ一度足をお運び下さい。これからも吹奏楽部の応援をよろしく願います。

ます。」

水泳部

水泳部は現在、女子10人、男子5人、マネージャー5人で楽しく活動しています。

今年は珍しく女子の新入生が多い年でした。

また中央大会に8人も出場できました。

夏の合宿では厳しい練習に耐え、技術面はもちろん精神的にも成長できました。

体操部

副部長 西野 杏花莉

体操部は現在、男子5人、女子11人の計16人で活動しています。最近の大会で男子が団体で入賞したり、3部の大会では個人総合や種目別のあん馬・吊り輪・平行棒にも入賞しました。これからも『仲良く楽しく一生懸命』をモットーに日頃の練習に励み、男女共に大会で入賞を目指して頑張りたいと思います。卒業生のみなさんも是非一度体操部の練習を見に来てください。

男子バスケットボール部

2年 マネージャー 大林 菜都実

5月に新チームを結成し、8月の公立校大会、1月の新人戦、4月のインターハイ予選という、年に3回の大きな大会で勝ち上がることを目標に、日々練習に励んでいます。

これまで勝てなかった相手に勝てるようになるなど、練習の成果が発揮された時が一番の喜びです。

仲間との共同生活を送る夏休みの合宿も、とても有意義なものになりました。

どこの部活にも負けないぐらい仲が良いため、部員一同毎日楽しんで活動

しています。

男子バレー部

部員 山岡 昇太郎

私達桜塚高校男子バレー部は、近年成し得ることのなかった近畿大会出場を目標に、部内でも切磋琢磨しながら日々頑張っています。

桜塚の自由で自立的な校風はそのままに、先輩方に恥じることのないメリハリのある学校生活を送っています。

普段は17時45分完全下校という時間の規制の中での学校生活ですが、それを良い区切りとし、桜塚生は勉強と部活を両立しています。

もしお時間があれば、また母校の桜塚に来てください。

男子ハンドボール部

部長 小川 祥之

私たち男子ハンドボール部は3年生14名2年生9名でがんばっています。

3年生は引退が近いので最後に悔いの残らないように毎日練習をがんばっています。自分達が入部した当初はチームとしてのまとまりがなく、皆の気持ちがいばらばらになっていて、先輩らが引退されてから自分達が先輩である意識を徐々に持ち出し、今では次入ってくる1年生にどのような指導をするか考えながら自分の練習もかかさず両立させています。同好会からクラブにならせていただいた先輩方には感謝を忘れずにその気持ちを後輩に受け継いでいきたいです。

茶道部

部長 安原 由結

茶道部は、2014年3月現在、1年、2年生5人ずつ計10人で、毎週水曜日と金曜日に活動しています。4月からは毎週月曜日と金曜日の予定です。

毎年の合宿は、箕面の勝尾寺で一泊二日で楽しくけじめをつけて行っています。

今年に入ってから、水屋の大掃除をしました。新しく小さな棚を設え、お道具の整理とすのこの下の掃除もしました。

現2年生最後のお茶会となる交流茶会を6月に行いますので、OBOGの方は是非お越しください。

美術部

部長 新山 晴香

高校展やブロック展などの展覧会に向けて作品の制作をしたり、コンクールに作品を出しています。特になにもないときは、皆でのんびり会話をしながら絵を描いています。依頼を受けて作品を制作することもあります。最近では美術選択者数名と協力して、紙芝居の絵の制作をしました。また、今年度(2013年度)の文化祭では、他の文化部の皆さんと協力してアーチを作り、下足室に飾りました。

箏曲部

顧問 木本 直子

本校の箏曲部は女学校時代からの伝統があり、20面近い箏を所有しています。広い作法室を茶道部と共有し、火曜日と木曜日が基本の練習日です。木曜日には外部講師の方を招き、ほとんどが初心者部員を、舞台発表ができるレベルにまで熱心に指導してもらっています。9月の文化祭と1月の芸術文化祭が毎年の主な発表の場ですが、依頼があれば地域のさまざまな交流会にも参加します。部員数が少ないのが悩みですが、和気藹々と楽しく練習しています。

落語家 桂 吉弥師匠

昭和46年2月25日生れ。豊中市出身42才。既婚。子供2人。尼崎市在住。父は桜塚高15期新保正秋氏。所属事務所は桂 米朝事務所。上方落語協会会員。出囃子は「真室川音頭」1993年11月桂 吉朝に入門。豊中市立保育所から豊中市立上野小学校入学。担任からは「この人は将来とんでもない人になる」と云われた。卒業は茨木市立山手台小学校。神戸大学教育学部卒業(1993年)。在学中は落語研究会に入学。内弟子は桂 米朝宅へ。両親と共に布団を持って挨拶に米朝宅に伺うと、「長男でよく落語家になるのを承知しはりましたな、昔やつたら勘当ものでっせ」と言われたとか。落語家として活動するカタワラ、NHKテレビドラマにも度々出演。2004年のNHK大河ドラマ「新撰組」NHK連続テレビ小説「ちりとてちん」に出演。これを機に関西地方で放送される複数のテレビ・ラジオ番組でレギュラーを務めるなど、活動の幅を大きく広げている。

受賞歴

- ・1997年「ABCお笑い新人グランプリ」審査員特別賞
- ・1998年「NHK新人演芸大賞」新人賞
- ・2005年「第42回なにわ芸術祭」新人賞
- ・2006年「咲くやこの花賞」
- ・2008年「第2回繁昌亭大賞」奨励賞
- ・2008年「第3回繁昌亭大賞」大賞
- ・2008年「芸術祭賞」大衆芸能部門 新人賞



小型天体望遠鏡から大型天文台まで 教育機関、公共機関の天文台企画、設置工事



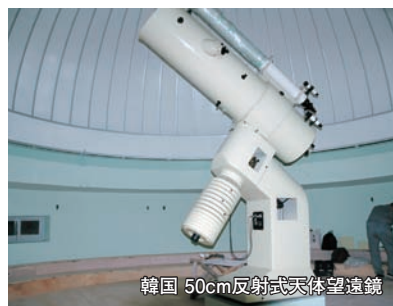
ニュージーランド テカポ湖



ハワイ マウイ島 ハレヤカラ



鹿児島県 輝北町



韓国 50cm反射式天体望遠鏡

協栄産業株式会社

〒530-0012 大阪市北区芝田2-9-18
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-5
URL <http://www.kyoei-dome.com>

TEL 06-6375-9701
TEL 03-3526-3366

代表取締役
谷 元美 (高15期)



山岳部OB会より

今回、山岳部OBの三人から元気な便りが寄せられました。川島淑子さん(高11期)、中田暁さん(高21期)の二人は第111回例会に参加した時の感想文。高谷善雄さん(高3期)は蓮華温泉の魅力が伝えられました。高齢に負けず外へ出ての活躍ぶりに、元気を分けてもらったような気がします。皆さんからの投稿をお待ちしております。

(編集スタッフ一同)

『もぐりがいつの間にか』

主役に

高11期 川島 淑子(水野)

第111回山岳部OB会例会が大阪の鶴見緑地周辺で催されたのは、カラ梅雨で大地も人も水に喘ぐ2013(平成25)年6月16日(日)のことであつた。

私の在学当時は、今のような登山ブームはなかったし、まして華やかな山ガールなど存在しない、私だって当然山岳部に籍をおいた記憶もない…なの



第111回例会 鶴見緑地バーベキュー場で
2013年6月16日 右端立っているのが筆者

に、4年前「山岳部OB会100回記念のご案内」が届いた。そのイベントは、山を制覇するというものではなく、桜宮から毛馬の閘門辺りまでを淀のながれに添って、桜を愛でつつ川畔を散策、途中蕪村の句碑の前で文学的センスを問うて、それぞれ一句ずつ五・七・五を詠もうというユニークなもの。

どのようなルートで山岳部からの案内状が届いたのだらうと、頭の中に疑問符をつけたまま、桜の良い季節とおもしろそうな企画に魅かれ、つい「山歩き・町歩き大好き亭主」に声をかけると「一緒にいこうかなあ」という。

「もぐり参加でもOK?」とTELで確認。「どうぞ、どうぞ」と爽やかな心地よい声音に誘われ、知った顔は居るだらうか? おそろおそろ二人で参加させてもらうことにした(ちなみに彼は和歌山・桐蔭高校11期)。

存分に桜を楽しみ、大汗かいて城北公園近くの食事会場に着くころには旧知の山仲間のお話や弾み、それぞれの句が詠みあげられビールの泡が喉に吸い込まれる頃にはすっかり打ち解け、もぐりのはずの2人は大きな顔を

して中央に陣取っていた。

その後は定期的に例会のお誘いを頂き、奈良・六甲方面など過酷なレースもあるけれど、時間の都合が付く限り2人とも楽しんで参加させてもらっている。最後の打ち上げ会場に向かう時などは、山仲間特有の爽やかな談笑に不思議と元気が湧き、足取りも軽くなる。もぐり参加の私たちもこの空気は何なんやろう? と言いつつ居座っている。

さて、今回のイベントは「なみはや緑地を散策、バーベキューを楽しむ」というものの、雨乞いでもしようかというほど大阪市内の大地は乾ききっている、山の爽やかな緑の風など期待出来ないと思いつつ集合場所に行くとするに強者たちが。強い日差しの中、緑を求めて歩く事数分で都会のオアシスがあつた! 想像以上に多い緑の木々、わずかに咲き誇る花々をいとおしみながら散策を楽しむ。辿り着いた会場には、幹事さん達が準備万端バーベキューの材料、飲み物すべて手配済みで、一気に50年ほど若返り、炭火おこしに興じた、心憎いほどの嬉しいイベントだった。大地と同じ位、乾ききった喉を潤すビールは、キリキリに冷えて山のように積まれていたにかかわらず、たちまち空けられていった。残った野菜や肉などを燃え盛る炭火に投じて、炭素化させ、ごみを残さないでおうこうと言うのを、主婦のもったいない根性と本性が頭をもたげ、火を通して持ち帰らせてもらう事にした。

炭火でやいた各種の肉は極上・美味!。翌日、野菜たっぷり、牛・豚・鳥:各種たっぷりの極上カレーが我が家の食卓を潤した事は言うまでもない。ごちそうさまでした。

「遅れてきた獣医」

高21期 中田 暁

2013年6月16日山岳部OB会、第111回例会の参加者は17人。暑い時期なので公園散策とその後のバーベキューとなりました。私も元氣な先輩方と先生に会える事を楽しみに参加しました。これまで現役時代に第1回例会には参加したものの、その後100回例会まで続いていた事を高卒後40数年間全く知らずに来た事を今更ながら残念に思っています。住所変更が重なり尚和会からの音沙汰もなくなっておりましたが家内(22期)の友人が尚和会へ住所変更を出してくれて、再び尚和会会報に出会う事が出来ました。送られて来た会報の記事に目が止り:記事の写真には先輩の顔々、懐かし、OB会が続いていたことを初めて知りました。:早速連絡を取る為に高校時代に先輩の家に行った記憶をたよりに地図で昔歩いた道順を探して行き、天六で商店をしていた先輩の家に行き当たりました。早速電話番号を調べ電話して懐かしい先輩の声を聞くと涙があふれるほどうれしかったです。声の主は現役時代に校庭でテント設営5分、テント撤収3分と時計を見ながら号令をかけていた吉川さん(19)です。尚和会会報が届いて連絡先がわかるまで数ヶ月を費やしましたがその年の冬の例会には無事参加する事が出来ました。時を同じくして住所がわかった松下君(22)を紹介し、以後彼は皆勤賞で例会に参加しております。彼と高校時代に2人で4日間かけて歩き通した冬の比良縦走と同じコースに1週間前(2013年11月)に行っていました。今回は雪のない時期なので1日半で十



分か、そして紅葉を独り占めしようと思っておりましたが、当日は比良の稜線上は吹雪と視界不良(初冠雪となり積雪10~20センチ)、夏道は雪に埋まって識別出来ずこのため1日目です予定時間をはみ出したので途中下山に変更しました。峠よりの下山は日も暮れて懐中電灯の中を進みましたがしばらく下るうちにこの道はすでに廃道となっていてることがわかり、雨に濡れない岩陰にビバーク(不時露営)することになりました。上は雪でもビバーク地より下は雨、しかし視界は良く足元には琵琶湖畔の志賀町の灯り、灰色の湖面の向こうには近江八幡の灯りが見えきれいな夜景でした。さて翌朝下山に取り掛かりましたがすぐに道はなくなり崖にロープが垂れ下がったコースになり昨夜がなんぼって下山していたら転落していたらと昨夜のビバークの判断を自己賞賛し下りました。

第111回例会の話に戻ります。今年(2013年)は梅雨が今の所全くなく昨日の雨で少しは作物に役立ったかと思いますが今日は全くの夏日とな

り登山には適さないので、鶴見緑地をゆっくり散策しその後バーベキューにて、いつものごとくワイワイガヤガヤ、しかし山での炊飯はお手のものではなくが船頭多くしてなんとかで、なかなか炭に火が点かず隣のパーティーに文明の利器で火を付けてもらうはめになったり、食べた食べたで終わってみれば肉だけ食べて野菜は沢山残りさすがに年のわりに若い！OB達でした。今日の私は散策歩き無しでバーベキューのみの出席で遅れての参加になりました。「その遅れ」を取って3期生の大古参高谷氏より「遅れてきた獣医」ということで尚和会会報へ投稿するようにと言われ今回の文章を書かせていただいております。

「遅れてきた」とは、1回目は今回111回例会に仕事で遅れ、2回目は110回例会の集合時間15:00集合を午後5時集合と、勝手に解釈してキツカリ2時間遅れてしまいました。昔はガンガンに厳しそうな村上さん(17)、穏健で兄貴的な上林さん(18)、現役時代はよく山につきあってくれた木津さん(18)たちは赤い顔(怒りor酒?)をして遅れてきた事に苦言を：登山において約束時間に遅れると言う事はまかり間違えれば遭難に直結することです。現役時代から時間厳守は再三教育されている事なので当然です。しかし一番大きな遅れは100回例会まで音信不通で遅れた事です。大学を北海道に選り山岳部で北の山河を走り回っていたために、また大阪に戻ってから仕事にのめり込んでしまい音信不通になってしまいました。話は飛びますが今年(2013)の春には高谷氏(3)が故後藤先生の残された春山スキートのロングヒル滑降の最高齢レコー

ド更新に挑まれましたが残念ながら達成は出来ませんでした。私もそのスキー山のドクターとしてのサポートを頼まれておりましたのに仕事の都合が付かず参加出来なかった事が残念です。(この計画には、僧侶、葬儀屋まで同行させるといふ珍案もありました。)

3ヶ月毎の山岳部OB会(歩こう会)例会には先生、先輩、後輩方の親しみある会話や友情に楽しいひと時を過ごす目的で参加しております。この会の常連メンバーは話しはじめると真偽不明の摩訶不思議な世界に引き込む魔術を持つ(?)三枝(11)、山本(旧姓大津11)、松島(11)、伊藤

(11)のみなさん、落ち着きと節度を保つ川島夫妻(旧姓水野11)と永井夫妻(17)、毎度東京より駆けつける今、最も輝いている山男の関野(旧姓渡辺17)、一風変わった風が吹く間瀬(18)、喋り巧みの吉川(19)、昔ながらの角刈りのゴルゴこと松浦(16)、アイゼンキックの小馬(18)、ダンディな砂川(17)の諸氏、今となつては優しい上田(19)さん、市田(28)君もはるばる三重から来てくれます。先生では昔ながらの渋さの内田先生、昔の微笑みそのままの相澤先生、誰?一目で分からなかった牧先生、こしはらくお会いしていない和田先生がお元気で参加されています。日本のトップクライマーであり数多くの経歴談を楽しく語っていた枝(18)さんが世話役をしておられますので山岳部関係者はこの機会にご連絡下さい。()内は卒業期。

(枝0901814211207)
(中田0901660419964)

『60の60?!』

高3期 高谷 善雄

当会報Vol.058(2010年版)とVol.060(2012年版)の投稿記事欄に大きくスペースを独占しました「山岳部OB会便り」の記事に、『蓮華温泉』(新潟県糸魚川市)という文字が目につきます。知る人ぞ知る春山スキートのメッカです。一九五三(昭和二八)年八月、故山口ウメ子先生と立ち寄った時、春山スキートの魅力を知られ、爾後六十年を経過した二〇一三年六十回目の蓮華温泉行きを果たしました(六十回のうち四九回が春山スキー、残りが夏山、秋山です)。

『60の60』というタイトルはそういうことです。その節目の六十回イベントは、はからずも「ミニ山岳部OB会」という形になったことは望外の喜びでした。同行していただいた諸氏への感謝は一生ものです。ロッジでの祝宴はロッジのオーナーも参加していただき、忘れ難い、思い出満載の一刻でした。



「6060」のボードをバックに
左から3人目が筆者、その右隣りがロッジのオーナー田原さん
2013年10月8日

では何故そんなに蓮華温泉に拘るのか? 答えは「そこが日本一のスキーターがでけるところだから」です。小沢征爾さんが「春スキーが一番楽しい」と仰言っておられます。この魅力にとりつかれたら麻薬みたいなものです。故山口先生の「あんだ、アホちゃうか」という声が聞こえてきそうです。

2013(平成25)年12月23日に、第113回例会(1年のしめくくり)豪華イタリア料理で開催、18人集まりました。新しいメンバーが1人ふえ、今回も東京と長野から参加がありました。

「人の和」は、時折々みんなと集まって食べることで作られてきたと言われています。OB会が長く続いている秘訣は、案外そんなところにあるのでは。

2014(平成26)年2月には「新年の集まり」として第114回例会をしました。

「卒業5年以内の皆様へ」

表紙にてご案内しております尚和会総会には毎年、懐しい担任の先生方も参加されています。2010年(高62期 定60期)以降の卒業生の方は会費は2000円です(半額)ぜひ同期の方をお誘いあわせてのご参加をお待ちしております。

葬 祭 式 場

加納会館 本館 (リニューアルしました)



豊中市中桜塚2-12-2
(豊中市役所筋向い・国道176号線沿)

加納会館ファミリエ



豊中市中桜塚5-15-3
(豊中市役所交差点から東へ500m)

加納会館 今宮



箕面市今宮3-2-13
(今宮交差点東へすぐ・国道171号線沿)

会員募集

レリーフクラブ ...

万一の時にご遺族のご負担を少しでも軽くするためのシステムです
詳しくはフリーダイヤルへコール

株式会社 加納 ☎ 0120-096-940
代表取締役 上村 学 (高17期)

尚 和 会 通 信

一、尚和会会報有料制について

今、お読みの尚和会会報は有料制です。年間千円（同封の振込用紙にてお振込み下さい）払込用紙紛失の方は郵便口座番号00930331860加入者名「尚和会」宛お願いします。会報發送者…会報千円及び協力納入者に限り翌年発行の会報を送付いたします。

二、尚和会会報の無料配布

その期が、卒業後五年経過ごとに、住所判明者を対象として全員に送付します。また、卒業後五年間は全員に送付します。

三、「同期会開催支援助成金制度」

・助成金交付対象期

尚和会会員が同期会を計画、開催実施しようとするもので、その同期会が卒業後5年を経過した年及びその後5周年単位毎の年の四月一日から翌年三月三十一日までの年度内に開催される期であること。なお、卒業後最初の同期会は右記の周年でなくても助成金を交付する。

・助成金の額

五〇、〇〇〇円とする。

・申請の手続き

開催する同期会の代表幹事が書面（同期会助成金交付申請書）にて、尚和会会長宛に同期会開催一ヶ月前迄に提出又は郵送する。（申請書用紙は会長又は各役員宛請求のこと）

・助成金の交付

「同期会助成金交付申請書」受理後

速やかに同期会開催迄に支払う。

なお、同期会に対する助成は同じ期が同じ周年時期に複数の場所で開催されても、尚和会からの助成金交付は、その期に対して一回限りです。また、クラス単位での開催も対象外です。

四、在校生クラブ活動に報奨金制度

クラブ活動に顕著な成績を残したクラブに、活動費の一部を助成する制度です。助成対象は府下大会及び近畿大会にて優勝またはそれに準ずるもの、又は全国大会出場の場合とします。在校生諸君の活発な活動を期待します。

平成26年度「同期会開催支援助成金」を受ける事の出来る期

高女3	高1	高6	高11	高16	高21	高26	高31
高36	高41	高46	高51	高56	高61	定4	定9
定14	定19	定24	定29	定34	定39	定44	定49
定54	定59						

「同窓会開催支援助成金」は、
1.卒業後初めて開催する同期会に交付します
2.卒業後5周年以降に5年毎に開催する同期会に交付します(上記の期が対象です)
例卒業後8年目に初めて同期会を開催し助成金を受け取りましたが
続けて卒業後10周年にも開催することになりました……
この場合も助成金は受け取れますから申請して下さい。（クラス会は不可）

各 期 連 絡 先

期	氏 名	電 話	期	氏 名	電 話	期	氏 名	電 話	期	氏 名	電 話
女1	越 水 ユ リ	06-6852-8755	高27	高 森 豊 文	06-6832-5238	高62	春 口 健 太	06-6857-9029	定39	森 本 真裕美	06-6849-7859
女2	北 川 富美子	0798-74-3024	高28	乾 憲 隆	0797-74-4331	高63	中 司 将 太	06-6853-3804	定41	奥 田 康 弘	06-6388-7339
女3	菅 野 万喜恵	06-6852-0020	高29	山 澤 健 二	06-6399-7677	高64	太 田 将 司		定42	前 川 良 司	072-722-5896
女4	永 井 徳 子	06-6942-1968	高30	木 村 慶 子	06-6853-9213	高65	佐々木 夏 輝		定43	山 田 辰 典	06-6333-1785
女5	馬 渕 千 代	06-6853-5181	高31	佐 藤 稚加子	0797-87-8357	高65	白 川 絵美子		定44	大 塚 俊 二	072-762-7873
女6	青 木 操 子	06-6843-2552	高32	塩 崎 正 和	06-6863-6710	高66	廣 田 え み	072-754-1454	定45	青 木 宏	06-6332-5370
女7	黒 田 長 子	06-6854-5432	高33	菊 川 雅 之	06-6301-0805	定1	吉 本 喜代子	072-722-2075	定46	岡 田 智 寛	06-6333-5996
女8	中 村 陽 子	06-6844-1570	高34	中 谷 和 宏	06-6864-3181	定3	永 井 博 純	072-759-2971	定48	野 口 光 弘	
高1	安 達 良 子	072-721-3901	高35	川 嶋 道 代	072-729-6099	定6	中 川 豊	06-6349-8965	定49	大 鳥 正 登	072-761-1036
高2	北 野 敦 子	0797-88-2676	高36	安 藤 昌 博	06-6832-7930	定7	岸 本 弘	072-734-1237	定50	福 永 敦 哉	06-6862-7542
高3	谷 田 探 成	06-6314-0550	高37	高 崎 健 治	06-6623-6801	定8	田 邊 昭 夫	06-6843-0952	定51	徳 留 三 香	06-6866-6994
高4	中 右 吉 信	06-6855-5372	高39	須 崎 康 広	072-752-6441	定9	中 本 賢 一	06-6854-2078	定52	本 郷 美由紀	06-6841-0860
高5	宮 口 一 郎	06-6852-4859	高40	堂 前 直 子	06-6336-7265	定11	永 井 敏 輝	06-6852-0333	定53	山 下 武 徳	06-6857-3239
高6	北 まち子	06-6865-3131	高41	朱 山 雅 枝	06-6864-4782	定12	笹 部 修 造	06-6852-0475	定54	井 上 かおり	06-6862-8978
高7	関 高 明	0797-88-5603	高42	谷 尾 紀 江	048-946-3601	定13	小 畑 貞 夫	06-6848-3019	定55	高 橋 秀 彰	06-6852-4438
高8	岩 本 鈞	06-6852-8739	高43	横 尾 さち子	06-6854-0026	定14	杉 本 土 生	072-728-1497	定56	越 智 康 裕	06-6868-2275
高9	安 浦 杲	072-737-0068	高44	河 野 太	06-6476-1102	定16	森 島 作 蔵	06-6857-6219	定57	石 村 真 実	080-3113-0635
高10	唐 渡 吉 則	072-752-4548	高45	出 井 健一郎		定17	前 田 政 治	06-6855-8451	定58	上 山 良 太	072-751-1035
高11	吉 田 和 久	06-6857-0352	高46	榎 本 誉 士	090-4795-4221	定18	中 島 健 二	072-722-8153	定59	奥 田 一 樹	090-6974-6331
高12	斎 藤 嘉 明	072-738-4647	高47	藤 本 真 史	06-6854-4908	定19	飯 田 悦 弘	06-6855-3440	定60	吉 岡 雄 基	06-6866-3668
高13	細 川 和 彦	06-6849-6879	高48	中 山 耕 平	06-6473-5212	定21	堀 健 次	06-6878-5694	定61	岩 本 麻由美	090-2358-5296
高14	佐 藤 勝 哉	06-6849-0663	高49	岡 本 真 一	06-6331-2559	定22	西 田 惣 一		定62	森 貞 恵 美	
高15	大 畠 光 昭	06-6841-8135	高50	北 敬 史	06-6843-0173	定23	豊 隆 司	06-6335-7169	定64	大 槻 安 雄	080-5145-1715
高16	中 務 公 子	06-6858-4509	高51	西 脇 巧	06-6845-9616	定25	大 町 裕 次	06-6862-7083	修1	矢 野 和 美	
高17	福 本 育 馬	06-6333-6636	高52	内木場 昇	06-6848-6297	定27	稲 井 幸 雄	072-728-0955	修2	能 勢 優 紀	06-6841-2919
高18	北 川 悟 司	06-6843-1336	高53	宮 崎 沙也香	06-6831-7395	定28	真 下 保	06-6385-6190	修3	畠 山 貴 徳	072-728-1150
高19	志 賀 順 子	06-6852-0968	高54	渡 辺 剛	06-6855-3018	定29	寒 川 悟		修4	竹 田 大 河	06-6841-4820
高20	郡 守 男	079-565-2627	高55	真 野 康 祐	072-739-1917	定30	奥 みゆき	072-882-4130	修5	三 島 祐 貴	072-722-7482
高21	山 本 登志恵	06-6924-3544	高56	亀 井 み え	06-6393-1017	定31	木 原 純	072-730-6756	修6	野 口 雄 樹	06-6843-7595
高22	杉 山 茂	06-6841-4119	高57	柴 田 綾	06-6302-7216	定32	市 村 孝 浩	06-6841-0416	修7	田 中 一	06-6833-6671
高23	後 藤 保 二	06-6373-7380	高58	北 山 耕 平	06-6866-3878	定34	清 水 美 佳	072-761-3323	修8	足 立 亘	06-6855-3538
高24	梅 田 純 子	06-6329-6309	高59	井 上 裕 太	06-6841-5447	定35	武 藤 直 美	06-6843-5357	修9	宮 谷 友 浩	072-752-1244
高25	小 合 孝 子	06-6855-3604	高60	林 知 徳	06-6850-8985	定37	渡 部 二 郎		修10	高 安 邦 子	06-6301-0968
高26	松 田 俊 一	06-6841-1049	高61	桐 山 直 也	06-6853-9781	定38	中 村 保		修11	上 芝グリーンカ	06-6864-3898

尚和会役員（平成26・27年度）



副会長
(広報担当)
高19期
大岩 正明
(再任)



副会長
(行事担当)
高15期
南 正枝
(再任)



副会長
(財務担当)
定13期
中岸 澄江
(再任)



会長
高15期
大畠 光昭
(再任)



会計
定18期
中島 健二
(新任)



会計
高14期
渡邊 憲一
(新任)



副会長
高33期
崎阪 治
(新任)



副会長
(総務担当)
高29期
山澤 健二
(再任)

退任（H26.3.31付）

旭 直子（高29期）
中村 三枝（高30期）
（ともに会計）



会計監査
高31期
佐藤稚加子
(再任)



会計監査
定13期
塚本五十鈴
(再任)

平成26年度
評議員会及び理事会開催予定日

- 評議員会

第一回 平成26年 9 月 6 日(土)
会費制 会場未定

第二回 平成27年 1 月11日(日) 新年評議員会
会費制 会場未定

第三回 平成27年 3 月21日(土) 尚和会会議室
- 理事会

第一回 平成26年 5 月10日(土) 尚和会会議室

第二回 平成26年 9 月 6 日(土)
会費制 会場未定

第三回 平成26年11月 8 日(土) 尚和会会議室

第四回 平成27年 1 月11日(日) 新年理事会
会費制 会場未定

第五回 平成27年 3 月21日(土) 尚和会会議室

(※各案内葉書は開催前に発送します。)

尚和会 平成25年度決算報告書・26年度予算書						
[収支決算] (自:平成25年4月1日 至:平成26年3月31日)						
(単位:円)						
科 目		予 算	決 算	差引過不足	備 考	26年度予算
収入の部	入 会 金	1,624,000	1,624,000	0	25年3月卒業406名(全日357名、定時9名、定通併修40名)	1,540,000
	会 報 代	1,800,000	1,826,000	26,000	1826人	1,800,000
	尚 和 会 協 力 金	3,000,000	2,970,555	▲29,445	1311件	3,000,000
	広 告 収 入	70,000	125,000	55,000	8件	100,000
	利 息 収 入	3,000	2,945	▲55		3,000
	雑 収 入	0	0	0		0
	計	6,497,000	6,548,500	51,500		6,443,000
支出の部	事 務 費	200,000	130,904	69,096	事務用品、ハガキ等印刷代、会員名簿管理費	200,000
	備 品 ・ 雑 品 代	150,000	120,160	29,840	コピー機リース料等	150,000
	通 信 ・ 交 通 費	200,000	133,750	66,250	ハガキ、切手、郵送費等	200,000
	会 合 費	500,000	517,416	▲17,416	理事会・評議員会及び各委員会会合費	600,000
	会 報 発 行 費	2,500,000	2,440,837	59,163	24頁 11000部印刷 8975部郵送+在校生+同期会	2,600,000
	総 会 費	700,000	739,420	▲39,420	総会・懇親会(参加者91名、出演者12名含む)	750,000
	東京支部援助金	400,000	400,000	0		1,000,000
	同期会開催助成金	500,000	500,000	0	高5.14.15.17.18.35.47期 定8.12.13期	500,000
	慶 弔 費	30,000	5,000	25,000	旧職員への香典	20,000
	卒業生記念品代	250,000	213,640	36,360	卒業証書ホルダー	250,000
	現役クラブ報奨金	100,000	15,000	85,000	定時制陸上、バトミントン部、全日制ダンス部	100,000
	高校援助協力費	300,000	100,000	200,000	海外語学研修祝い金	300,000
	ホームページ運営費	100,000	69,300	30,700	レンタルサーバー費	100,000
	雑 支 出	300,000	238,896	61,104	振込手数料、写真代他(郵便振替手数料197,870円)	250,000
	予 備 費	500,000	122,000	378,000	恵風園ベンチ寄贈	300,000
	計	6,730,000	5,746,323	983,677		7,320,000
	1.差引当期収支		▲233,000	802,177	1,035,177	
2.前期繰越金		814,528	814,528			1,616,705
3.(1+2)合計		581,528	1,616,705			739,705
4.尚和会積立金等繰入						
5.尚和会積立金等取崩						
6.次期繰越金			1,616,705			739,705

[貸借対照表] (平成26年3月31日現在) (単位:円)

借 方		貸 方	
現 金	53,877	尚 和 会 積 立 金	12,000,000
郵便振替口座	2,692	尚和会事業積立金	11,000,000
通常郵便貯金	0	次 期 繰 越 金	1,616,705
普 通 預 金	2,528,336		
定 期 預 金	12,733,800		
定 額 貯 金	9,298,000		
合 計	24,616,705	合 計	24,616,705

以上、決算報告いたします。平成26年3月31日
財務担当副会長(定13期) 中岸 澄江 ㊟
会 計(高29期) 旭 直子 ㊟
会 計(高30期) 中村 三枝 ㊟
決算に対し監査の結果、誤りの無いことを報告します。
平成26年 3月31日
会 計 監 査(定13期) 塚本五十鈴 ㊟
会 計 監 査(高31期) 佐藤稚加子 ㊟

平成25年度決算報告書、平成26年度予算書は、平成26年3月22日の理事会・評議員会にて承認されました。平成26年 3月31日
会 長(高15期) 大畠 光昭 ㊟
副会長(高15期) 南 正江 ㊟
副会長(高13期) 大岩 正明 ㊟
副会長(高29期) 山澤 健二 ㊟
副会長(定13期) 中岸 澄江 ㊟



廣 濟 堂
デ ー タ ベ ース

学校経営を支援する
多彩なソリューションを
ご提供します。

印刷、IT、映像、イベント、人材等の幅広い事業リソースを活かし、
学校案内や広報誌の制作をはじめ、HPや映像制作、eラーニング、
学生のキャリア教育・就職支援、同窓会事務局の運営支援等、
円滑な学校経営をサポートします。

まずはお気軽にお問い合わせください
株式会社廣済堂 データベース課
〒560-8567 大阪府豊中市蛍池西町2-2-1
TEL 06-6855-9241
http://www.kosaido.co.jp/



HOTEL IVORY

同窓会、OB・OG会プラン
記念の集合写真付き

お料理+お飲物+集合写真
お一人様 募 6,000〜

ご人数限定！
20名様以上より！

ホテルアイボリー
予約直通 Tel: 06-6849-5040

・上記プラン以外にもメニューを
豊富にご用意しております。
・ご予算面につきましてもお気軽に
係までご相談下さい。

尚 和 会 理 事 名 簿

()は担当です

平成26年4月1日現在

期	役割	氏	名	期	役割	氏	名	期	役割	氏	名	期	役割	氏	名	期	役割	氏	名											
女1	顧問	越	水	ユ	リ	高9	(総務)	味	舌	純	子	高18	(行事)	北	川	悟	司	定28		真	下	保	定50		福	永	敦	哉		
女1	顧問	矢	野	鈴	子	高9	(広報)	上	野	由	美	高18	(行事)	洪	谷	伊	三雄	高31	会計監査	佐	藤	稚加子	定51		徳	留	三	香		
女1	顧問	塚	田	京	子	定7	(行事)	岡	島		勇	高18	(行事)	南		禮	子	高33	(総務)	川	毛	勝	高53	(総務)	宮	崎	沙	也香		
女3	(総務)	古	川	寿	美江	定7		月	川	憲	一	高18	(行事)	加	賀	美	幸	高33	校内理事	庵	地	康	志	高53		北	田	達	也	
女3	(評議)	永	野	弘	子	高10	(行事)	唐	渡	吉	則	定16		森	島	作	蔵	高33	副会長	崎	阪		治	高54		大	川	恵	理	
女5	(総務)	大	里	知	萬子	高10	(行事)	溝	口	勝	弘	高19	副会長	大	岩	正	明	定31		木	原	純	高55		溝	口	紗	良		
女4	(総務)	永	井	徳	子	高10	(行事)	安	藤	雅	恵	高19		久保	田	文	男子	高34		山	口	誠	定53	(広報)	山	下	武	明		
女4	(総務)	豊	田	佳	子	定8	(行事)	安	田	邊	昭	夫	高19	(行事)	志	賀	順	子	高34	(広報)	中	谷	和	宏	定53		山	中	武	
女5	(総務)	馬	渕	千	代	定8	(総務・評議)	小	寺		勝	高19	(行事)	池	田	愛	子	高34	(行事)	伴	村	孝	浩	修3		島	山	貴	徳	
女6	(総務)	青	木	操	子	高11	顧問	田	中		渡	高19	(行事)	松	島	映	子	定32		市	村		治	高56		下	村	名	津子	
女7	(総務)	黒	田	長	子	高11	(総務)	吉	田	和	久	高19	(行事)	大	島	順	子	高35	校内理事	桑	田	嶋	道	代	定54		井	上	か	おり
女7	(広報)	森	田	井	玲	高11	(総務)	坂	井	岑	嘉	定17	(総務)	前	田	政	治	高35	(総務)	川	嶋	道	博	修4	(総務・評議)	古	竹	田	大	河
女7	(総務)	藤	井	妙	子	高11	(総務)	渡	井	辺	雅	子	高20		郡		守	男	高36		安	藤	昌	博	修4		柴	田	綾	河
女7	(総務)	出	口	珠	子	高11	(総務)	南		みち	子	高20		山	中	清	利	高36	(総務)	山	中	晶	子	高57	(行事)	柴	田	佳	佑	
女8	(行事)	中	村	陽	子	高11	(総務・評議)	中	城	弘	子	高20	(広報)	森	田	豊	昭	高37		味	元	崎	健	治	高57		寺	山	佳	美
女8	(総務)	根	上	恵	美子	定9	(行事)	中	本	賢	一	高20	(総務)	本	村	由	利子	高37		高	崎	健	治	高57		岸	本	雅	美	
高1	(総務)	安	達	良	子	定9		中	川	弘	士	定18	会計	中	島	健	二	定34	(行事)	清	水	美	佳	定55		高	橋	秀	彰	
高2		石	原	綾	子	高12	(行事)	齋	藤	嘉	明	定19	(総務)	飯	田	悦	弘	定35	(総務)	武	藤	直	美	定55	(総務)	古	田	絹	枝	
高3	顧問	谷	田	探	成	高12	(広報)	戸	谷	友	隆	高21	(総務)	山	本	登	志恵	高39		須	崎	泰	広	修5		三	島	祐	貴	
高3	顧問	高	津		弘	高12	(広報)	小	林	公	子	高22	(総務)	杉	山		茂	高40		峰	松		徹	高58		北	山	耕	平	
高3	(総務)	赤	崎		豊	高12		吉	田	友	子	高22	(総務)	安	部	香	代	高40		堂	前	直	子	高58		平	林		絢	
高3	(総務)	上	田	茉莉	子	高13		細	川	和	彦	高23	(行事)	後	藤	保	二	定38		中	村		保	定56		越	智	康	裕	
高3	(総務)	中	村	千穂	子	高13		椿		貞	士	定21		堀		健	次	高41		坂	口	大	介	修6		野	口	吉	晃	
高4	(広報)	中	右	吉	信	高13	(行事)	野	村		誠	高24	(総務)	福	永	玲	子	高41	(総務)	朱	山	雅	枝	修6		井	上	裕	太	
高4	(総務・評議)	北	野	定	子	高13		荒	木	由	美子	高24	(総務)	梅	田	純	子	高41	(広報)	北	之	坊	誠	人	高59		石	田	工	ミ
高4	(総務)	奥	田	関	子	高13		鈴	木	雅	子	高24	(総務)	小	西	明	美	高42	(総務)	宮	本	千	聡	子	高59		石	田	真	実
高5	(広報)	宮	口	一	郎	高14	東京支部長	北	村	正	和	高25		岩	崎	尚	雄	高42	(総務)	松	山	裕	江	修7		田	中	一	里	
高5	(広報)	竹	村	忠	一	高14	(広報)	佐	藤	勝	哉	高25		田	中	広	和	高42		谷	尾	紀	子	高60		柏	本	山	良	太
高5	(行事)	山	本	隆	三郎	高14	(総務)	吉	田	裕	理子	高25		森	林	千	栄	高43	(総務)	横	尾	さ	ち子	高58		上	谷		華	
高5	(行事)	林		達	雄	高14		伊	丹	二	郎	高25		原	榎	寿	子	定41		奥	田	康	広	定58		宮	立	亘	也	
高5	(広報)	北	之	坊	英美子	高14	会計	渡	辺	憲	一	定23		豊		隆	司	定41		室	留	夕	良	司	修8		足	山	直	々
高5	(総務)	井	手	瑞	子	定12		芳	野	昌	三	高26	(行事)	松	田	俊	一	定42	(評議)	前	川		司	高61		桐	幡	本	奈	々
高5	(総務)	村	上	美智	子	定12		佐	藤	行	英	高26	(総務)	梶	田	孝	志	高44		河	野		太	高61		春	口	健	太	
定3	(行事)	永	井	博	純	高15	会 長	大	島	光	昭	高27		高	森	豊	文	高44		十	倉	伸	二	高62		石	川	草	規	
高6	顧問	荻	野	哲	男	高15	(行事)	伊	庭	昌	子	定25		大	町	裕	次	高44	校内理事	島	内		健	高62		奥	田	一	樹	
高6	(広報)	金	原	正	展	高15	(行事)	上	田	幸	子	高28	(総務)	上	元	一	泰	高45		鈴	木		緑	高62		吉	岡	雄	基	
高6	(行事)	北		まち	子	高15		福	士	凱	彦	高28	(広報)	乾		憲	隆	定43		山	田	辰	典	定59		奥	田	一	樹	
高6	(行事)	長	岡	美津	子	高15	(広報)	加	集	允	子	高29	副会長					定44	(評議)	大	塚	俊	二	修10		高	安	邦	子	
高6	(行事)	奥	畑	滋	子	高15	副会長	南		正	枝	高29	(総務)	山	澤	健	二	高46		大	岩	良	和	高63		中	司	将	太	
高7	(行事)	関		高	明	定13	副会長	中	岸	澄	江	高29		旭		直	子	高47		藤	本	真	史	高63		北	川	真	菜	
高7	(行事)	磯		京	子	定13	会計監査	塚	本	五十	鈴	高29	(行事)	小	林	佳	代	高47		黒	田	亜	紀子	高63		岩	本	麻	由美	
高7	(総務)	林	下	由	美子	定14	(総務)	杉	本	土	生	高29	(総務)	石	尾	成	伸	高48		中	山	耕	平	定61		上	芝	グリン	カ	
高8	(行事)	岩	本		鈞	高16		木	下	道	雄	高29	校内理事	吉	田	英	司	定46		岡	田	智	寛	修11		太	田	将	司	
高8	(総務)	神	田	一	三	高16		不可	三	隆	夫	定27	(総務)	稲	井	幸	雄	高49		岡	本	真	一	高64		古	川	富	孔	
高8	(総務)	岩	藤	雅	子	高16	(広報)	中	務	公	子	高30		中	村	三	枝	高49		澁	谷	友	美	高64		下	川	え	み	
高8	(総務)	梶	浦	令	子	高16	(総務)	細	川	美	栄子	高30	(総務)	菅	谷	茂	樹	高50		山	口	あゆ	か	修12		廣	田	原	富	
定6	(行事)	野	口	勝		高17		福	本	育	馬	高30	(総務)	木	村	慶	子	定49		大	鳥	正	登	高66		上	田	富	男	
高9		河	崎	守	男	高17		上	村		学	高30	(広報)	上	元	朋	子	定49		高	野		茜	定64		小	寺	祥	文	
高9	(総務)	宇	多	良	勝	高17	(行事)	村	中	由	起子	高30		井	塚	弥	生	高52		内	木	場	昇		教養総務部					

尚 和 会 評 議 員 名 簿

平成26年4月1日現在

期	氏	名	期	氏	名	期	氏	名	期	氏	名	期	氏	名	期	氏	名													
女1	矢	野	鈴	子	高8	岩	本	鈞	高18	北	川	悟	司	高48	中	山	耕	平	修3	島	山	貴	徳	修7	田	中		一		
女3	古	川	寿	美江	高8	岩	藤	雅	子	高19	大	岩	正	明	定46	岡	田	智	寛	高56	亀	井	み	え	高60	柏	本	真	里	
女3	永	野	弘	子	高9	安	浦		杲	高20	本	村	由	利子	高49	岡	本	真	一	高56	下	村	名	津子	定58	上	山	良	太	
女4	永	井	徳	子	高9	上	野	由	美	高21	山	本	登	志恵	高49	澁	谷	友	美	定54	井	上	か	おり	定58	宮	谷	静	華	
女5	馬	渕	千	代	定7	岡	島		勇	高22	杉	山		茂	高50	山	口	あゆ	か	修4	竹	田	大	河	修8	足	立	亘	也	
女6	青	木	操	子	高10	安	藤	雅	恵	高22	安	部	香	代	定49	大	鳥	正	登	高57	柴	田		綾	高61	桐	山	直	々	
女6	古	澤	純	子	定8	小	寺		勝	高23	後	藤	保	二	定49	高	野		茜	高57	寺	山	佳	佑	高61	幡	本	奈	々	
女7	出	口	珠	子	高11	中	城	弘	子	高28	上	元	一	泰	高52	内	木	場		昇	高57	岸	本	雅	美	高62	春	口	健	太
女8	中	村	陽	子	高11	南		みち子		高33	熊	本	千	登勢	定50	福	永	敦	哉	定55	高	橋	秀	彰	高62	石	川	草	規	
高1	安	達	良	子	高12	鳥	牧		潔	高33	木	戸	敏	幸	高53	北	田	達	也	定55	古	田	絹	枝	定59	奥	田	一	樹	
高3	谷	田	探	成	高13	井	上	東	洋志	定31	木	原		純	高53	宮	崎	沙	也香	修5	三	島	祐	貴	定60	吉	岡	雄	基	
高4	中	右	吉	信	高13	椿		貞	士	定42	前	川	良	司	定51	徳	留	三	香	高58	北	山	耕	平	修10	高	安	邦	子	
高4	北	野	定	子	高14	佐	藤	勝	哉	高45	鈴	木		緑	高54	大	川	恵	理	高58	平	林		絢	高63	中	司	将	太	
高5	林		達	雄	高14	森	野	克	也	定43	山	田	辰	典	定52	安	富	康	太	定56	越	智	康	裕	高63	北	川	真	菜	
高5	北	之	坊	英美子	定13	小	畑	貞	夫	高46	榎	本	誉	士	修2			勢	優	太	定56	野	口	吉	晃	定61	岩	本	麻	由美
高6	金	原	正	展	高16	木	下	道	雄	高46	大	岩	良	和	高55	真	野	康	祐	修6	野	口	雄	樹	修11	上	芝	グリ	ンカ	
高6	北		まち	子	高16	小	坂	悦	子	定44	大	塚	俊	二	高55	溝	口	紗	良	高59	井	上	裕	太	高64	太	田	将	司	
高7	林	下	由	美子	高17	西	口	清	治	高47	藤	本	真	史	定53	山	下	武	徳	高59	石	田	工	ミ	高64	古	川		瞳	
高7	磯		京	子	高17	村	中	由	起子	高47	黒	田	亜	紀子	定53	山	中	明	子	定57	石	村	真	実						

同期会報告

高校3期生同窓会

高3期 上田英之助

高校3期会は大阪と東京で交互に開かれており、昨年は東京のパレスホテルで開かれました。今年は大阪が当番で、平成25年10月28日12時からホテル阪急インターナショナルで行い、男性22名、女性43名合計65名の出席を得て盛大に開かれました。

我々3期生は戦後の学制改革で男女共学になった学年で桜塚高校の男子の一期生で、多くの著名人を輩出し社会の各分野で広く活躍しております。会に参加した人は皆一昨年傘寿を迎えたと思えないぐらい矍鑠としており、お互い大いに勇気付けられました。それでも年には勝てず色々と身体故障も出てきており、ともすると健康の事の話が行ってしまうのも仕方がないことではありました。高校時代の思い出に花を咲かせ、現在の生活、これからの



希望など思い思いの花を咲かせ、あつという間に時間が過ぎてしまいました。また二次会には新阪急ホテル地下のバーリッドで行われ殆ど全員が参加しそこでもまた話が盛り上がりましたが、遠くに帰る人もあるので次回を期待して散会しました。

先輩として母校に望むことは、この頃の桜塚は勉強、スポーツ、芸術などの分野で余り話題として聞くことが少ないようで、何か抜き出た特徴を発揮して欲しいものだと思ふから願う次第です。

今後3期会世話をする人も次第に高齢になって来ており、何時まで開けるか不安な面もありますが規模を小さくしてでも続けることが出来れば幸いと考えております。

「昭和シングル会」催しの意義

高4期 松田 祝三

私たち高4期は、毎年夏と年末の2回、有志による私的な集いを、およそ三十年来欠かすことなく開催しています。

「昭和シングル会」と名づけたこの意味は、同期生が昭和八・九年生まれということのほか、小学校卒業時が戦前戦後教育の転換点であったこと。そして中学時代には国の教育制度改革で、初の男女共学による新制高校生へと目まぐるしく揺り動かされた者同士として、その心情と時代感を敢えて顕わしているかと理解してください。

卒業後のある時期から今日までのきわめて長期間、指名を受けたわけでもない世話人が次々とバトンタッチしながら維持するのは、結構エネルギーのいることですが、高四期生が他の学年と微妙に違う連帯感を共有しているからこそのできるのかもしれない。

催しは、大阪のシングル会と東京のグルメ会とに分かれて行っています。ここでは大阪でのシングル会について紹介いたします。

会は主として阪神間のホテルで行いますが、時には六甲山上や神戸港にあるホテルを利用します。毎回四十〜五

十人の男女が出席し、その割合は必ず男15対女2となります。これは新制桜塚高校発足時、豊中高等女学校へ主として豊中中学と池田中学から男子が編入した際のバランスが崩れることなく保たれているからです。

ホテル利用については、何しろ長期安定開催ですから、ホテル側の理解も得やすく、料金・サービス面での不満はありません。中には、マネージャーや接待係に桜塚高校卒業生がいて、面倒をみてくれるのも嬉しいことです。

演出には、ホテル側の斡旋または世話人のアイデアで、音楽主体に多彩なゲストを招いて行っていますが、平成二十五年八月と十二月には、続けて二回、桜塚高校在校生の軽音楽部による演奏を楽しみました。

八十歳の私たちにとって、孫といえる部員の歌と楽器演奏に出席者全員目を細めつつ手と脚とでリズムをとる光景を想像してみてください。何とも心和むひとときでした。

私たちの在校時代にも軽音楽部はあったと記憶します（下級生に、有名なミュージシャンになった人もいます）が、演奏技術・歌唱力・振付に時代格差は歴然です。音楽に溢れた環境に育



つ若者のフィーリングに誘い込まれた、これまでにない悦びをいただきました。当然、わずかながらお礼をしましたが、顧問の久谷先生から、ステージ用の照明器具の購入に役立てたむね丁重なお礼状が届きました。こうしてみると、許される範囲で在校生の部活と合致する演出の企画は、お金の使い方として有意義と考えます。学校側の理解が前提ですが…。

個人的な考えですが、私はいま、今後の人生を三年刻みで実現可能な生き方を想定することにしています。衣食住、新しい創造的变化は期待できません。可能なことは、自分が持ち得ている時間です。親しい多くの友人たちと豊かな時間を過ごすことを何よりの希みとしています。同期の会は、その軸を成すものです。

五期会「傘寿の集い」を終えて

五期会世話人一同

去る10月16日、ヒルトン大阪に於いて卒業60周年を記念し「傘寿の集い」を開催しました。台風26号の影響を受け74名出席予定が65名となり、お越し頂けなかった方々には大変残念な思いをさせましたが、皆様和やかな雰囲気の中、久しぶりの会話が弾み、40名超す方々が二次会にも残られて楽しい一日を過ごすことが出来ました。一応、今回を以って全同期会として



の集まりを終わらせて頂きますが、今後も皆様方のご提案には出来る限りの協力をし、名簿の管理、尚和会との連絡等の事務処理は責任を持って続けますので、住所変更などの情報のご提供をお願い致します。

永年に渡ってお世話させて頂きました事は、皆様方のご理解とご協力のお陰と感謝致します。有難うございました。

皆様方には更なる一日の為に、御身お大事にお過ごし下さるようお祈りします。

高校14期生

古稀記念同窓会を終えて

十四期生古稀記念同窓会会長

渡邊憲一

平成26年2月15日、ザ・リッツカールトン大阪にて11年ぶりに同期会を開催いたしました。

今年のこの時期は東日本を中心に雪の日が多く、特に開催日前日の14日は大雪が降りました。関東方面からの参加予定者もあり、大変心配したことを思い出します。

50年ぶりの再会



現役の軽音楽部による演奏



還暦の時に開催して以来、いわば休眠状態でしたが平成24年11月、尚和会東京支部総会時に大島会長から私達の同期生で尚和会東京支部長の北村君に「14期生の皆さんは古希記念の同窓会をやらないのですか」と問いかけられたのをきっかけに「よし、やろう！」と有志が夏頃から集まり70歳を超えないうちに、ということで準備期間を踏まえると寒い2月の開催日となつてしまったわけです。

そんな状況の中で参加者はなんと104名にも達しました。世話人の皆さんの想定をはるかに超えたものです。

会場では参加者の入場に合わせて桜塚高校の校歌を流し、同期生達が笑顔で語らいながら足を運んで入ってくる姿を目にするという「開催してよかった！」という思いがこみ上げたのは私一人ではなかったと思います。

当日は開催のきっかけを作ってくださった尚和会の大島会長をご招待し冒頭にご挨拶をいただいた後、尚和会の活動状況等についても折角の機会ですので詳しくご説明いただきました。

また、今回は初めての試みとして軽音楽部の現役部員によるバンド演奏をお願いし、取り入れてみましたところ、会場の雰囲気もなごみ最後には「アンコール！」の大声にもこたえて

古希ご褒美修学旅行

高14期 阿部 恒久

長澤先生旧2年1組クラス会は、総勢13名で、3月21日から23日の2泊3日のバス旅行で、高校2年の10月に修学旅行で訪れた富士五湖、白糸の滝を52年ぶりに再び訪れました。

「人生いろいろな事が有ったが、それを乗り越えて古希まで元気に生きてきた自分に対するご褒美として、ちょ



後輩諸君も頑張ってくれました。ありがとうございました。

外は風が冷たい一日でしたが、会場の中ではゴルフのメンバーを募ったり、ある女性グループはこのメンバーでこれからは時々会いましょうと約束をしたり、会場内の雰囲気は温かさがいっぱい元気な声があちこちで上がつていました。次にまた集まろうという声もあちこちで聞こえたように思います。



つと贅沢な旅行をしようではないか」という同級生の尚和会東京支部長北村君の呼びかけに、皆は心を揺さぶられ、旅行することを決めました。

富士山の偉容を眼前に見た感動と、当時のクラス仲間と再訪するという奇蹟的な旅行に心の昂ぶりを抑えることが出来ませんでした。

2年1組のクラス会は、昭和38年のまだ春浅き2月の末に、箕面で第1回を行ってから51年の長きに亘り続けて来ている。40回位開催しているでしょうか。

私が、その頃大阪に帰省していて、同級生の一人と家の前で談笑してしましたら、我々の前を、長澤先生が、普段通勤で通っておられる道ではない、私の家の前の道を、バイクで帰宅しようとして通り過ぎようとして、一瞬の偶然で、先生にお会いしました。この偶然が無ければ、このクラス会は恐らく無かったと思われまふ。

「先生、もう一度、2年生の時の仲間と一緒に会いたいんです」という話から、クラス会の話が持ち上がりました。先生も、区切りの学年のクラスでないのに拘らず「お、やれやれ！」と大変喜ばれ、早速ガリ版を学校で用意して下さいました。

振り返れば、先生とは、1週間近い修学旅行、また体育祭の応援の練習を恵風園で一緒にしていただいたり、楽しい多くの時間を過ごさせていただきました。先生は「教師」というより「お兄さん」の存在のように思われました。

長澤先生は、第1回のクラス会に出席された翌年の昭和39年に、39才の若さで亡くなりました。先生が一足先にお帰りになられることになったの



で、皆で「蛍の光」を歌いましたが、それが長澤先生との最後のお別れになるとは誰が予想し得たでしょうか。先生のクラス会の出席は、これが最初で最後になりました。

クラス会は、何故かその後も途絶えることなく続いて行きました。

平成6年、クラス会の席で鳥取県の大山・蒜山に1泊2日の旅行の話が出ました。酒の席の話と聞いていたが、旅行が実現しました。大変楽しい旅行でしたので、その後は、乗鞍方面、彦根城・近江八幡、奈良県の赤目48滝、美濃路の薄墨の桜、更に新潟県の棚田・白馬岳山麓、三重の答志島へと、毎年クラス会とは別に旅行に行きました。このような旅行を計画されるクラス仲間の存在が素晴らしいです。

旅行の後に、赤松さん（旧姓）が、文芸作品と言って良いような旅行アルバムを作られ、私達に下さいますが、そのアルバムが旅行後の大きな楽しみにもなっています。その才能に私達は驚かされています。

何回かの旅行の地下があつて平成23年5月の連休に、東京でのクラス会と鎌倉への旅行を兼ねた1泊2日のイベントを実現することが出来ました。

関東方面に、2年1組の同級生が8名います。平成23年は高校2年から数えて50年になりますので、記念クラス会を東京で行い、関東の同級生に出席してもらおうとの強い提案があり、「皆では非実現しようではなか」となりました。

計画が順調に進んでいたところ、3月11日に東日本大震災が起こり、原発の爆発事故も重なり、日本の行く末がどうなるか不安な日々でした。

こんな時にクラス会をやって良いものか悩みましたが、被災者の皆さん、普段の生活して下さい。それが復興に繋がるのです。という言葉に甘えさせてもらい計画どおりクラス会を行い、鎌倉へ行きました。

私達も、被災者の方達に対する気持ちとして、朝日新聞の東日本大震災救援募金に寄付をさせて頂いたいただきました（北摂版に、桜塚高校長澤先生旧2年1組クラス会として掲載されました。5/11付）。

関東から4名、関西から15名、総勢19名の大盛会でした。一人の欠席者もなく強い絆を感じました。50年ぶりの再会もあり、心に深く思い出として残るクラス会となりました。

なぜこのクラス会がこのように長く続いているのか私達も不思議に思われます。

当時の桜塚高校は非常に自由な雰囲気、校風であつたと思います。とりわけ高校2年は修学旅行があつたりして、自由な雰囲気をも満喫できた学年であつたと思われまふ。その中でお互いの絆が育まれていったのでしようか。少し感傷的になるかも知れませんが、若くして亡くなられました長澤先生の「私のことを何時までも覚えておいてほしい」という思いが、私達をクラス会に駆り立てておられるのかも知れません。

私達は、このクラス会を少なくとも喜寿まで続けようと言っていますが、80才を過ぎてエレベーストに登る人、102才で童話作家になれる人がいる中で、喜寿までとは少し淋しい気もし

東日本大震災義援金	
東日本大震災被災者支援会	
義援金受付先	
10万円	四條市・和泉会入
5万円	本郷市・中村市・和泉会入
3万円	高田市・和泉会入
2万円	豊中市・和泉会入
1万円	一ツ木市・和泉会入
5000円	和泉会入
3000円	和泉会入
2000円	和泉会入
1000円	和泉会入
500円	和泉会入
300円	和泉会入
200円	和泉会入
100円	和泉会入
50円	和泉会入
30円	和泉会入
20円	和泉会入
10円	和泉会入
5円	和泉会入
3円	和泉会入
2円	和泉会入
1円	和泉会入
500円	和泉会入
300円	和泉会入
200円	和泉会入
100円	和泉会入
50円	和泉会入
30円	和泉会入
20円	和泉会入
10円	和泉会入
5円	和泉会入
3円	和泉会入
2円	和泉会入
1円	和泉会入



桂吉弥師匠を囲んで

ですが、なによりも元氣であることが、クラスの仲間に対する責務であると思っています。

私達のようなクラス会の存在を知っていたら、尚和会の皆様の中で、クラス会をやってみよう、あちこちで盛んにクラス会が開催される切っ掛けになっていただければ嬉しいです。

「卒業50周年記念と古希を祝う会」
高15期 福士 凱彦
平成25年10月12日(土) 大阪新阪急ホテルにて開催。

卒業50年経過ということで、大畠会長はじめ各クラス幹事のみなみならぬ努力の結果、出席者が目標の100名を越え、105名となりました。本当にご苦勞様でした。

存命の恩師の方々は健康上の理由で参加できなかったのが残念です。物故者は恩師6名、同期生31名です。黙祷。

当日配布された冊子内には、会長のアイデアにより、入学時の1年生から3年生迄の各クラスの全体写真、卒業アルバムの中の個人写真が掲載されておりました。それを元に、あの頃の思い出話に一層花が咲き、みんな気持ちのあつた時に戻っていました。

メインゲストは、新保正秋君のご厚意でご子息の落語家 桂 吉弥師匠を迎え、その巧みに会場は大爆笑



でした。

吉弥師匠は各テーブルでの記念撮影にも快く応じてくださり、みんな大喜びでした。

福引では会長より、阪急インターナショナルホテルのペア宿泊券が提供され、抽選により女性の方に当たりましたが、「自分が当たったら誰と泊まるのかな？」などという人もいました。

二次会は同ホテル内のラウンジバーへ。65名が流れ参加し、ここでも思いで話は尽きることなく、時の経つのを忘れるほどでした。

次回第8回目の同期会(5年後)での再会が楽しみです。

末筆ながら、尚和会より助成金をいただき有難うございました。

帝国ホテルで同期会

高17期 竹村 慶三

十七期生の首都圏在住者が集う「第五回尚和会桜塚十七東京クラブ」の総会、懇親会が平成二十五年十一月七日(木)、東京の帝国ホテルインペリアルラウンジ アクアで開かれました。

私たちは昭和四〇年卒業のベビーブーマーで当時十一組五百四十三人。そのうち現在私たちが把握している首都

圏在住者は六十三人でそのうち男性十七、女性十八人と過去最高の三十五人が参加。大阪からも三人がかけつけてくれました。しかし、四人の方が亡くなられたとわかり、また、三年時に担任だった先生のうち、八人が他界されておりあわせてご冥福を祈りました。

この、東京クラブは平成二十一年に創立。当初は参加者が一四、一五人と少なく、特に女性の方に不人気で、幹事、世話役が「どうすれば増えるだろう」とアイデアを出し合い「やるなら、超一流のところだ」と考え、帝国ホテルに決まりました。

総会では、会計報告、クラブの規約改正案などを承認。懇親会ではホテルの厳選された料理、フリードリンクなどで会話がはずみました。この年の四月に開かれた一七期の全体同窓会に、東京クラブからも一〇人が参加。その折、母校を訪れました。在学時に比べ校舎と校庭が逆になって、鉄筋コンクリートに建て替えられていたこと。最近は大阪府立高校で人気の高い四校のひとつにあげられていることや、軽音楽部、ダンス部が全国レベルになっているなどの話題にみんなは驚いたり嬉しそくに聞き入っていました。また、「何より数多い桜の美しさが忘れられない」には高校時代に思いを馳せ懐かしそうでした。本来は二時間のところ、ホテルのはからいで三〇分延長とおおいに盛り上がりました。

最後に、幹事からクラブ発展のため名簿記載者以外で首都圏在住者を紹介してほしいとのお願いがあり、再会を誓いました。

第18期(昭和41年3月卒業)同窓会開催

第18期 幹事 岡野 優治

平成26年2月15日(土) 午前11時から大阪新阪急ホテルにて開催致しました。

前日からの大雪にもかかわらず関東や四国などの遠方からも同期生84名と大西康雄先生、岡安孝教先生、弓庭栄夫先生にもご参加を頂きました。



宴会場入場の際には校歌CDをBGMにしてお迎えしました。

卒業して48年経過し風貌の変化に誰だか見分けのつかない人もいて、全員名札をつけてもらい各テーブルに配布した卒業写真と見比べながら学生時代に戻り懐かしく楽しく話が盛り上がりしました。

また欠席者からのメッセージを一覧にして閲覧してもらいました。

司会は渋谷伊三雄君と加賀(旧姓木下)美幸さんの二人で進行、代表幹事の北川悟司君の挨拶に続き、大西康雄先生に乾杯の発声を頂きました。

会食に一段落したところでクラスごとに先生と一緒にステージに上がってもらい全員から近況を話してもらいましたが話が長い人は司会者から注意され笑いを誘っていました。最後に校歌を全員で元氣よく斉唱し、西垣(旧姓久保田)裕紀子さんの挨拶で一次会は惜しまれながら終了しました。

二次会には40名の参加を頂き個別にメルアドを交換したり話が尽きませんでした。

次回は3年後の古希を迎える年に開催を予定しておりますので、今回ご欠席の人も是非ご参加を頂きたいと思っております。



高校二十期同期会

高20期 高田(磯) 安紀子

昨年十一月十七日(土)、「ホテルアイボリー」で同期会を開催しました。

当日は、井上マサ先生、内田先生、牧先生、辻内(村瀬)先生をお迎えして、男子(?) 四十一名、女子(?) 十八名が出席。

近年、二年おきに開催していますので、二年ぶりに元氣な姿を確認し合う人達、卒業以来初めて参加の人達等々。

尽きない話題に、楽しい話声、笑い声が響きわたるあつという間のひとときでした。続く二次会は同ホテルの別室に移動。半数以上の人達が参加。

当初、一次会だけと言っていた人も来てくれて、幹事としては大感激。

六十三才になり、開始時間は午後一時(以前は夕方から夜にかけて)、食事は立食からテーブル席へと様々変化しましたが、まだまだ元氣一杯!!

来年も開催する予定ですので、初めの方の方もふるってご参加下さい。

35期同期会報告

高35期 桑田 誠

来る11月9日(土)に35期生の2回目の同期会を行いました。会に先立ち、13時に学校に20名余が集合して校内見学を行いました。卒業してから学校を訪れる方がほとんどで、大変懐かしく校内を散策しました。

16時からホテル阪急インターナショナルで、山本孟先生、加藤勇先生のご同席をいただき、同期会を行いました。開会宣言の後、現在の校塚の様子、今回来れなかった方からのビデオレターがあり、クイズ大会、先生方のスピーチ、懐かしの映像で楽しみました。その間に、当時のクラスごと写真撮影をしました。和やかに、あつという間に1次会が終ってしまい、その場で2次会に入りました。2次会では、有志ライブのあと、大阪駅前ビル界隈でサライーマン流しをしているS君が会場内をギターを持って歩き、曲を披露したり、歌ってもらったりしてました。楽しい時間のまま2次会も終わり、それぞれ3次会、4次会へと流れていきました。

次回は2018年です。みなさん、また元気に会いましょう。



十八年ぶりの再会

舎目制47期 大司 充子

2013年8月17日、大阪駅前第一ビル『OPEN DOOR』にて47期同窓会を開催致しました。

今回卒業後二度目の同窓会でした。前回は幹事で連絡のつく方々だけで開催し学年全体の5分の1程度しか連絡が取れず60名弱の参加でした。

卒業後18年経って初めて、学年全体の同窓会を開催しようという話になり、自分たちの連絡網には限界を感じ幹事で相談し尚和会の力を借りる事になりました。

尚和会のご協力を頂き、47期生510名のうち338名の住所がわかり、案内状を送付しました。出欠確認のハガキの住所入力などに時間がかかりました。

そのうち返信203名の返信があり、参加人数は88名でした。人数を確定させると並行して会場選びもしなければならぬ為かなりの日数を要しました。

半年前から動き始め会場が決まるまで二十件ほど足を運びました。



大阪に住んでない方も多く、負担にならないように値段の設定なども慎重に話し合いました。

予算と会場の広さなどなかなか条件に合う場所がなかなか苦労しました。すべて決まった時には残り2ヶ月を切り本当に成功するのか不安でした。

一次会には関先生、中田先生、松下先生も参加してくださりスピーチもいただいていたいへん懐かしい雰囲気になりました。

準備段階では3時間歓談だけでは間が持たないのではないかとゲームを挟もうかと考えましたが歓談だけであつという間にすぎました。

会場内は大変な盛り上がりで、大声で話さないとか話がでないほど活気づいており、用意したBGMも全く聞こえなかった程です。

18年ぶりに会えた人もたくさんいて、外見はみんな変わってるんですけど、高校時代に戻った気分を味わえました。

高校時代に話ができなかった人とも交流する事ができみんなの笑顔がみれたので頑張つて開催して良かったです。2次会も半分くらい出席して欲しいと話していましたが、62名も出席していただき会場が満席になり、幹事一同感動しました。

また次回も4年後くらいに開催できればと思います。

今回は尚和会に5万円の助成金いただきました、有効に利用させていただきました。本当にありがとうございます。

海の日が再会記念日

高定8期 田邊 昭夫

平成二五年七月十五日(月)海の日に例年になく厳しい暑さの中、大阪・豊中のホテル アイボリーで定八期同窓会を開催しました。

私たちは卒業後、さまざまな人生を経て後期高齢期を迎えようとしています。近況報告になると おひとりおひとりの言葉に耳を傾け会場が静かになりました。

「昨年、四年余り看病した妻が旅立



ちました。」「それぞれの病を越えた今、健康の為にこんな工夫をしています。」など。子、孫の数から始まり、その子どもが逞しく成長されるお話もされました。

また、「マジック マジシャン」として小学生三十人位に楽しく手品を教えている」という方も、ハーモニカで懐かしい母校の校歌を合唱するなど、本当に楽しくあつという間の二時間でした。

そして当日参加出来なかった方々の中には体調をくずし残念ですというお便りもありました。

男性よりも女性の参加が少なく残念でしたが、次回開催日を平成二六年七月二十一日(月)今回と同じ海の日に決めました。苦学を共にした友情の集いほど楽しいものはありません。

今回の開催に対し、尚和会からの同期会開催助成金を有効に使わせていただき心より感謝申し上げます。

初の同期会

高定12期 芳野 昌三

平成二五年五月十八日(土)大阪・豊中のホテルアイボリーで定時制十二期同期会を開催しました。当日は当初の雨予報が前線の南下で、校歌の通りさつき大空になり会を祝福してくれているようでした。



昭和三十七年に卒業後、学年単位での同期会は初めて。五十一年ぶりの再会となった方が多く、名前確認のため、卒業アルバムと名札を準備しましたが、取り越し苦労に終わりました。というのみんなが古稀を過ぎてはいるものの、一部の方を除いてそれなりに面影が残っていて在校当時と直ぐに結びつきました。

人生七十年以上に無事到達と再会を祝してのウェルカムスピーチの後、恩師や同期生で亡くなられた方々と出席者の亡くなられた配偶者の方々のご冥福を祈って黙祷。今回参加者の増員に尽力された方々を代表して若園君が乾杯の音頭を取り懇親会に入りました。

遠方の東京西多摩地区から参加された方、病気を克服してリハビリ中の方、突然奥さんを亡くして意気消沈だった方など、それぞれがエール交換。元氣を取り戻すために参加されたといいました。

各人のスピーチでは、人生経験にもとづいたユーモアあふれる貴重な体験談が多く語られ会場は笑顔と歓声に包まれました。

最後の校歌斉唱では、なれている小畑君のリードで全員が大声で合唱。しかし、3番の出だしでプリントの文字が老眼で見づらくなり中断。隣にいた平山君が自分のクリップ老眼鏡を差し出し装着「これはよく見える」と言っ

て歌いきったのには一同大爆笑。チームワークの良さを垣間見たエピソードです。

その後、記念撮影をして次回の再会を約束しお開きとなりました。

同期会の週を前後してNHKBBS放送の「日本縦断こころ旅」で出演している「夜桜の後輩」火野正平さんが、番組の中で自転車で豊中駅前から豊中稲荷神社付近を寄り道。ご本人が「本町付近に住んでいた」と言っていました。その次の放送では火野正平さんの2年先輩に当たる豊中市在住の夜桜卒業生鹿島幸雄さんの依頼で、丹後半島の、経ヶ岬を訪ねる旅があったのですが、その冒頭と最後に依頼の手紙を読むシーンで大阪府立桜塚高校定時制が二度にわたって全国放送されました。誠に誇らしい出来事で、タイミングも良かったと思います。

最後になりましたが、今回、尚和会から助成金を受け立派で楽しい同期会を開けたことを厚く御礼申し上げます。

高定十三期会の集い

高定13期 吉田 信子

晩秋の穏やかな十月二十六日私達十三期会は卒業五十周年となりかねの宿「有馬」で一泊して行いました。出席者は十二名で少人数でしたが日頃から親交のある素晴らしい仲間達です。遠路高知県からの参加もありうれしい限りです。

一日目は宿の近くにある稲荷神社へ参拝し長い階段を全員で登り遙、六甲山系の山並を眺望しました。宿では有馬の名湯にひたり美味しいお料理と飲む程に酔う程に盛り上がりカラオケで美声を楽しみました。二日目は温泉街を散策、白煙立ち昇る天神泉源を見学、次は幹事さんの計らいで有馬グランドホテルの閑静な茶室で美味しいお抹茶を戴き総検造りの各茶室と庭園を拝見させていただき至福のひとつときを満喫させてもらいました。

古稀を迎えた私達はそれぞれが頑張ってきた証としていい人生を歩んでいることを実感しています。来年も一人



でも多くの人が参加されるように再会を楽しみにしています。

投稿記事

高校四期 林 正宏

毎年このゴールデンウィークの連休中に到着する『尚和会報』を、楽しみにしており、今は、毎日が、連休のわが身なので、会報は何回も何度も、読み返しております。

『物故者芳名欄』は、一番、気になります。名前と共に、在学時代の元気な顔々が、思い出されて、ああー彼奴も彼女も逝ってしまったのかと、つつい自分の歳を思い、何とも寂しくなります。

同期会報告の高四期卒業60周年の報告では、あの熊谷さんが、こんな名文を書かれるとは、今の今まで気が付きませんでした。ごめんなさい。感動感激しました。考えて見ると、現役時代に、誰が勉強が良く出来て、誰が成績が悪かったなんて言う記憶が、全く無い事に気が付きました。ただ、毎日毎日が楽しかった思い出ばかりです。集合写真を拡大鏡で一人ひとり見るのですが、绰名はすぐ頭に浮かびますが、名前は全く出てきません。こんな事象は、小生だけでしょうか？
恵風苑・恩露園の整備された写真

は、嬉しかったです。勿論、我々の時代のものとは、場所も景観も異なりますが、往時を思い出すのには十分です。

『クラブ便り』では、在学時は、バレー部にいたので、やはり気になります。現役の女子部の活躍振りも嬉しく、我々の時代は、女子部が、国体に大阪代表で出場した常勝軍団だったので、体育館は、常に女子優先で、男子部は一目も二目も頭が上らなかつたのが思い出されます。アタックのブロックに跳んでも、女子の先輩は強くて怖かったです。ボールが、顔を直撃されて、恰好が悪くて、必死にその痛さを我慢したのが、昨日の事の様です。

末筆ながら、会長を始め、尚和会役員の皆さんの格別のご尽力には、ただただ感謝するのみです。来年の会報を今から、楽しみにして居ります。小生に出来る事は、僅かに『協力金』を拠出する位です。皆様には、くれぐれも、宜しくお伝え下さい。

益々のご健勝を祈念いたします。
平成二十五年五月五日

（高女3期故侯野加代氏の親族）

侯野 知津

早々に会報を送って下さり、ありがとうございます。早速、仏前に供えさせていただきました。又、会報代も：申し訳ございませんでした。母の好きなお花に変えたいと思います。

生前、母は豊中高女の思い出をよく話しておりました。とても楽しかったのでしょう！いつか恵風苑、恩露園を拝見致したく思います。

尚和会の益々の御発展をお祈り申し上げます。
本当に有り難う御座います。
平成二十五年五月十五日

失念してしまい申し訳ない事ですが、多分、飯田（岡原）良子さん？▼

▼母 高女時代の親友です



▲梶田（甘田）美智子さん ▲杉本（柏井）鈴さん
母と示し合わせた様に天国へ・・・

卒業論文が京都府立総合資料館へ

尚和会 会長 大畠光昭

豊中市在住の定五六期岩永よし子さんは、高校野球発祥地が地元豊中であることから、法政大学通信教育部文学部史学科の二〇一二年度卒業論文を

27 (社会3) 17版 第3編読者便覧

高校野球「深紅の大優勝旗」

故・森浩一さん父デザイン

大阪の主婦 記述発見

故・森浩一さんの父がデザインした優勝旗のレプリカ（京都市南区・島野南）

論文執筆きっかけ

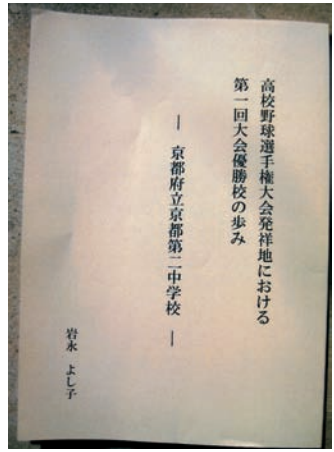
京都二中野球部題材

京都新聞 二〇一三年八月二三日掲載

「高校野球選手権大会発祥地における第一回大会優勝旗の歩み——京都府立京都第二中学校——」と題して提出されましたところ、論文は高い評価を得て法政大学のホームページにも掲載され冊子として製本され、日本高等学校野球連盟の目にも止まり、昨年十一月「京都府立総合資料館」に永久所蔵されました。卒論の中には母校桜塚高校のことも書かれてあります。

六十歳代で母校定時制課程で通学され、七十歳代でさらに法政大学通信教育部で学ばれた熱い向学心には、さすが桜塚高校女生徒！と感動いたしました。

この卒業論文冊子は母校にも寄贈され図書室にて閲覧出来ます。



60年振りの母校で 「65歳でサンフランシスコ 語学ステイの体験と失敗談」 なるテーマの講演を終えて！

高7期 加藤(小浜)恵美子

我が母校、桜塚高校の後輩達が今年の3月末に初めて姉妹都市のサンフランシスコ・サンマテオ市にホームステイするに当たって、4年前、私の自伝「シニアよ大志を抱け！」(還暦からの海外語学ステイ)(9回)を母校の図書館に寄贈したのが縁で、私の本に基づいた「サンフランシスコ・語学ステイの体験と失敗談」をテーマに講演を3月10日、尚和会館にて午後1時半から行いました。

実は昨秋に頼まれたのですが昨夏の猛暑後、少々、体調不安があり非常に迷いましたが私の海外ステイでの失敗をしなければ快適なステイとなると確信して、間際に一大決心をしました。

学校当局も初めての行事、出発可能な目安の30名の参加者があるか？否か？パスポートの注意点は？チップ社会である？米国テロ後のトイレ事情？迷子



講師 高7期 加藤恵美子氏

対策は？と校長先生と前段階のメールのやり取りを頻繁にしました。イヨイヨ、準備の追い込みとなり、私の幼児教育科・女子短大の音楽教師歴40年の血が騒いで！と言うか！無我夢中で最近の講演の主流であるパワーポイントなるソフトを使って自分が写した写真をP.Cに取り込み、1コマ1コマの場面に相応しいタイトル文字、動きを付けて動画風にしたり、擬音、効果音を入れたりして、よりドラマチックな映像を作成した作品をプロジェクターからホワイトボードに投影しながら講演を行いました。この日に備えては校長先生、卒業生である物理の桑田先生に映像機器の準備、進学指導の田上先生(お二人とはお目に掛かったことなし)、電話、メールにて、ご多忙の中、講演の段取りに付いて何度も応じて頂きました。鉄筋校舎になってからも既に



パワーポイントを使つての講義



に40年も経過している母校の初訪校は会場の広さ、ホワイトボードの配置図、何かと不安がありました。尚和会館に到着すると準備万端、音量の調整、机の配置など僅かな作業を整えて安心してスタート出来ました。小、中、高と同窓の高5期の粗多氏、同期の野村(横尾)さんも初訪校、それに同期の磯(水戸)さん、副会長長定13期の中岸さん達が応援聴講に駆けつけて下さり心丈夫でした！

将に孫年令の聴講した後輩達の感想文では「パワーポイントと地図の映像投影に依る講演は非常に臨場感ありで興味と期待と安心感を持って出発できる！」なる意思表示が読み取られる文章が殆どで、嬉しく思いました！

高校生ともなると世界史を学んでいるので画像作成は膨大な時間との闘いでしたし、各々の画像の下に入れる説明文は簡素に、より確実性をと非常に時間が掛かりました。ツイツイ宵つ張りとなり体調との兼ね合いが大変でしたが、無事に終えた充実感と心地よい疲労感に暫し浸り「矢張り年やナリ！」が本音です！ある意味で私自身の体調の乗り切り方を少々、ハードやっただけ…前向きにクリア出来たかな？とも思いますが、後どれ位、目的に向かってエネルギーが残っているか？今日、明日、明後日の日々を大切に過ごせるのなら次作は3D、4D方式でしょうか？

講演後「まるでステイの疑似体験をしながら度肝を抜かれる迫力の白熱講演ヤッター！」なる熱い評価をメールで受け、時間を掛けて悪戦苦闘したのが夢心地で拭拭しました！我が母校は大阪府下に150校余りある高校の中で「入学したい高校のNo.1」である事、受験率もこの少子化時代に常にNo.10以内である事を聞き、卒業生として大変、嬉しく誇りに思いました。これも校長先生、諸先生方、後輩達、ご父兄、尚和会の会長、幹事の方々の耐ゆまぬ努力、精進のお陰と有り難い事です。今は高校入試は2回あり、年明けからは大学入試指導、卒業式、入試諸事、



更に海外ステイの行事が増え、先生方は春休み返上と聞き、師走そのものの忙しさ、職務は察して有り余る尊さです。

昨年五月の豊中アイボリーホテルでの尚和会総会で初めて千葉県よりギリギリ時間に参加時、前校長・小山先生・現校長で同姓の加藤先生と短時間にお目に掛かったのが赤い糸の縁で今回の講演が実現しました。

又、尚和会会長・大島氏が私の送迎、写真係をして下さいました。我が母校の纏まり、温かい校風は校区の高校の中で唯一、創立77年の歴史ある元女学校の名残を感じ有り難く感謝！感謝！です。講演後、校舎の何処からも眺められる美しい中庭の恩露園、恵風苑を説明して頂きながら散策しました。校舎玄関内の「ほむらの野の像」、高女時代の校訓「明朗・敬虔・奉仕」の達筆なる掛軸、3年前の東北地震災害、当校生が岩手県立大槌高校に千羽鶴を贈った返礼の手作り作品「鮭のモニュメント」の額など新旧の記念物を眺めて感慨深かったです！鉄筋校舎の訪問をされてない卒業生も多いかと思えますので、写して頂いた数枚の写真を記載します。



卒業以来59年ぶりの訪問



加藤校長、前 小山校長(右側)と恵風苑にて



ほむらの野の像



校訓

る好奇心に満ちて、豊かな感性のアンテナを張り巡らせて話して(含ボディランゲジ)！見て！聞いて！知って！元気に揃って帰国するのを祈ります。4月には在校生は進級、卒業生は夫々の目的に向かった学校に進学されるところ！古き先輩として心からのお慶びと応援をしつつGO!GO! practice makes perfect! 後輩よ！大志を抱け！」なる言葉を贈ってペンを置きます。

同期会開催予告

桜花会御案内

高女八 中村陽子

過ぎ去った八十三年は、あっと云う間でした。本当に、八十三年も生きてきたのでしょうか…と疑いたくなります。

それなのに、今から先の一年の何と重くて遠い時間なんでしょう。

去年の桜花会を終えた時は今年と云う日を迎えられるかどうか予測は出来ませんでした。幸にして、今年も六月六日に、桜花会の集いが出来る運びとなりました。

去年桜花会に来られなかった人の返信に「来年はきっと行くからね」と云う力強いお便りを頂き、もう一度頑張ろうと活力を頂きました。

案内状は、去年の返信ハガキを頂いた方に発送しますので、届かない人もありますので、声をかけ合って、誘って下さい。

六月六日です。

今年も小澤さんと石原さんにお世話をして頂きます。

小澤澄子 TEL 075-81-3906 石原綾子 TEL 0727-52-1545

[桜塚高六期生卒業
60周年記念パーティ]の予告案内

今年で私達6期生は、桜塚高校を卒業して60年になります。これまでも何回か節目の年に記念大会を行ってきましたが、今回も元気で会おうと“記念パーティ”を、前回食事が好評だった楠公会館を会場に、下記の通り開催します。

久しぶりに一堂に集い、久闊を叙し、“男の子・女の子だった”青春の昔に戻り、傘寿に向かって、ますます元気な姿で共に歩もうではありませんか！

詳細は、秋9月ごろ各自宛にお送りしますが、今から予定に入れておいて頂き、多数の皆様の参加をお待ちしております。

日 時 平成26年11月10日(月) 受付12時 開宴12時30分

会 場 「楠公会館・青雲の間」 神戸湊川神社内
神戸市中央区多聞通3-1-1 TEL 078-371-0005
阪急・阪神 高速神戸駅、JR神戸駅 下車

料 理 日本料理（着席会席料理）

会 費 6,000円

アトラクション 落語 笑福亭仁勇（高29期副会長山澤健二）

代表幹事 金原 正展

高校11期卒業55周年記念同期会

早いもので私たちが桜塚高校を卒業して55年になります。前回の50周年から5年も経っていますが、皆さまにはお変わりございませんか。年々参加者が減少し、さびしく感じておりますので、今回は是非参加して頂き皆さんにお元気なお姿を見せて下さい。案内は、6月初旬に皆様へ発送しますが、紙面に開催の予告をしておきます。

日 時 2014年6月28日(土)

受 付 11時～

開 会 12時～

閉 会 15時

場 所 新大阪江坂東急イン
3階宴会場 06-6338-0109

会 費 10,000円

世話役代表 吉田 和久 (06-6857-0352)

桜塚高校16期卒業生
同期会開催のお知らせ

平成26年16期生は卒業50周年と言う記念の年でもあります。過去5年に一度開催してまいりましたが、今年度は、50周年と重なり、まことに喜ばしい事となりました。

ここに、皆様方に、同期会開催の予告お知らせいたします。

期 日 2014年11月22日(土)

場 所 ホテルグランビア大阪（JR大阪駅直結）
TEL 06-6345-2581

時 間 11月22日（土）午後1時～6時迄（2次会を含む）

代表幹事 神田正夫（06-6843-0090）以上

高26期会「還暦大同窓会」（予告）

来年の開催に向けて準備を進めています。現住所等の調査にご協力ください。

日 時 2015年5月23日(土)

場 所 新大阪江坂東急イン
地下鉄御堂筋線 江坂駅前

会 費 10,000円

学年代表 松田 俊一（5組）

事務局：〒564-0064 吹田市江坂町2-4-25-104

「おれ流お好み焼き力丸」気付（勝本・10組）

メール：k_21435720037@yahoo.co.jp（丸川・10組）

：u_kanagae@clock.ocn.ne.jp（金ヶ江・2組）

お便りから



平成二十五年五月から平成二十六年一月までにお送り頂いたものの中から掲載しています。

旧職 美濃部 道（村山）

2012年12月2日に、美濃部道は亡くなりました。いつも会報をお送り下さり、ありがとうございます。（長女 正子）

旧職 林 茂幹

やっと職務から解放されました。この機会に参加させていただきます。時間がありますので、参加いたします。

高女二期 中村 徳子（佐藤）

会報楽しみに読ませていただいております。有難うございました。

高女二期 丹田 寧子（村辻）

いつもお便り有難うございます。読ませて頂く気持ちがだんだん強くなって来るようです。

いろいろと有難うございました。よいお年をお迎え下さい。

高女一期 武藤 千代子

初旅は日本史にある京陣屋寺田屋に吾も悟春の過客かな。

高女二期 伊藤千恵子（生田）

卒業して70年がすぎました。皆さま如何おすごでしょうか。私何とか息災にこなしています。

高女二期 鳴海 靖子（入江）

会報なつかしく嬉しく拝見しました。今は看護の方のお世話になり乍らも一人で元気に過しています。

高女三期 福井 穆子（斉藤）

会報有難うございます。なつかしく読ませて頂きました。北村敏子先生の御冥福をお祈り致します。

高女三期 武田 昌恵（宮川）

86才になっても、豊中高女は永遠の青春です。いつも有難うございます。（仙台在住です）

高女三期 浜田 綾子（山田）

今年のアイボリー総会は卒業してはじめて68年ぶりで出席させて頂き「高女3期」は江本さんと二人だけでございました。幸せでございました。ますますのご繁栄お祈りしております。

高女三期 阿部 節子（渡部）

お陰様でどうにか元気にして居ります。週1回コースにも行き楽しんで居ります。

高女四期 永井 徳子

昨年末より肋骨のヒビで痛い痛いの毎日です。名簿の係として約30年近く、このままではご迷惑をおかけするのでなたか代って頂けないでしょうか。加齢による衰えにはさからえません。

高女五期 友松 長子（岩城）

昨年の東京の同窓会なつかしく思い出しました。皆様の御健勝を祈り上げます。

高女五期 生島 泰江（川井）

毎年、会報を楽しみにしております。家において、当時の事を思い出させてくれてありがたいです。元気にして、週3回デイに行っています。皆様とお会いできますように。

高女五期 奥野 信美（高瀬）

家政科実習で昼食用の副食を全校生分を作り、講堂下の食堂でいたゞいた事、食糧不足の時で食材集めに御苦労された事を、ありがたい、なつかしく思い出します。

高女五期 和氣 恭子（中村）

月日のたつ早さにたゞたゞ驚くばかりです。役員の皆様、ごころう様です。集りの折を楽しみに。会報拝受御礼申し上げます。

高女六期 阿部 悦子（阿部）

会報ありがとうございます。感謝。袖振合うも他生の縁。日々の生活を大切に送っています。

高女七期 升本 和子（小國）

体調をくずしてぐちぐちしておりますが、何とかがんばっております。

高女七期 森田 玲子（坂上）

19日は出席の予定でしたが、血圧が下がらずDr.ストップがっかり失礼いたしました。

高女七期 今治 禮子（別府）

いつも大へんお世話になり感謝一杯です。高女卒で83才ですが尚和会の会報が届いた時だけ乙女心に戻ります。労働員で大阪機工に勤勞奉仕など戦時中で辛い事が多かったのですが愉しかった思い出だけが残っています。

高女七期 渡辺 良子（渡辺）

新緑香る日、会報頂き有難うございました。恵風苑・恩露園の写真懐しい限りでございます。

高女八期 三木 幸子（中川）

尚和会会報2013ありがとうございますました。

高二期 岡本 秀子（横）

尚和会報たのしく読ませていただきました。特に恩露園、恵風苑の写真はなつかしく学生時代休み時間に友と語り合った場所でもあります。

高三期 高谷 善雄

会報2014年号に「山岳部OB会便り」原稿2本が入ります。

高三期 赤崎 豊

足の運びが悪くなり、残念乍ら総会に行けなくなりましたので、どうぞよろしく御願い申し上げます。

高三期 清水ゆり子（山柳）

2013年5月にお送りすべきところ、うっかりして居りました。期限切れかも知れませんが、取敢えずお送りします。

高四期 林 正宏

毎年の尚和会報のお蔭で一挙に青春時代の楽しい思い出に浸り若返ります。ありがとうございます。感謝多謝！

高四期 西村 澄子（熊谷）

高四期の私達、東京組は3月に1回位の食事会を楽しみお互の老後をエンジョイしています。

高四期 濱中 雅子（小川）

疎開先で終戦、女学校入学後学制変更、併設中卒となりおかげで男女同権家裁調査官の職をはたしました。

高四期 吉野智恵子（森本）

お世話になります。今後共よろしくお願ひいたします。

高四期 田村 明子（横田）

毎年尚和会報楽しみにしております。

桜塚卒業と同時に東京に転居、傘寿を迎えました。年々同期生との交流、絆が強くなりお世話下さる方々に感謝して居ります。

高五期 岸本喜久子（浦田）

いつのまにか、年をかさね、傘寿を迎えます。又皆様におめもじ出来ます事を楽しみにしております。

高五期 秋田 良子（中西）

会報に能勢町長谷の岸本家の事がのっていましたが、私の「原風景」は長谷です。母の実家（農家）が同じ地域だからです。幼少期に何かといえば長谷の実家によく預けられました。そこで少し少年上の叔母さんと一緒に遊んでいたことを思い出し、懐かしかったです。

高五期 黒田起志子（森垣）

恵風苑、恩露園が再整備された記事を読み、高校時代の記憶がよみがえりなつかしく、うれしく思いました。ぜひ一度寄せて頂きたいと思っています。

高六期 横山 新

益々のご隆盛をお祈りします。

高六期 本阪 英子（永田）

四捨五入したら80才をウリに、チーム最高齢で、お声を掛けて頂いては、相変らず、ゞよさゞいゞを踊っています。

高七期 久枝 信之

毎年有難うございます。益々元気に動き回っています。皆様にお会いしたいと常々願ひ乍ら九州の空を見上げています。

高七期 関 高明

今年は喜寿を迎えます。いつも内容豊富な尚和会会報ありがとうございます。

高七期 西田 博一

旧中山道のウォーキングの旅、1月17日に東京日本橋に2年6ヶ月かけて、完全踏破しました。引き続き高野山を目指して堺から歩き始めました。

高七期 松浦 峻

たのしみに会誌を読ませていただいています。母校の発展をお祈りしています。感謝。

高七期 六島 宏

会報を、毎年、届けられるのを楽しみにしています。同窓会には、なかなか出席できません。お世話される方々に感謝します。

高七期 仁木 悦子（阿部）

目標…背泳ぎ100m。アクティブ&ポジティブ。

高七期 池田 路子（江浪）

高三の受持だった水田紀久先生のお便りを懐かしく拝見しました。会報もカラー写真が多く年々、立派になり、有難うございます。

高七期 加藤恵美子（小浜）

会報、見やすく、嬉しく拝見！新校長先生を迎えて母校の発展を祈ります。少子化時代も受験生多しと聞き嬉しいですね。

高七期 紀伊 滋子（紀伊）

いつもお世話になりましてありがとうございます。遅くりまして申し訳ありません。貧乏ヒマなしとはこの事です。ボケて来たけど元気です。

高七期 柳田 和子（佐藤）

在学当時、癒しの場でもあった「恵風苑」「恩露園」移設後の様子を一度拝見したいと思いつつ、今に至っています。

高七期 坂本 弘子（中務）

桜の美しい季節にはいつも母校の桜を思い出しています。

高七期 坂本 弘子（中務）

桜の美しい季節にはいつも母校の桜を思い出しています。

高八期 神田 一三
尚和会総会で恩師に会えることを期待します。しかし、少人数だと思っています。

高八期 山縣 啓一
「物故者芳名」の欄、人生を全うした方、半ばの方それぞれです。人生の伝言板として毎回冥福を祈り、芳名を拝観しています。

高八期 新本 利子（儀間）
お世話くださる皆さまありがとうございます。昨年8月以来歩行困難で「屠所の羊」状態の私に「尚和会会報2013、5／1号」が届き再度熟読するうちに光明が見え、快適な日々を送っております。

高九期 鎌田 晴美（小川）
会報懐しく拝読しています。毎年楽しみにしております。

高九期 江崎 路子（岸本）
尚和会のますますの発展をお祈りしています。

高十期 中野 敏夫
5月の第3日曜日は、いつも他の行事と重なっています。出席しようにも出席できない。芸能もいいが、いつもそんなものでなく、心を高める講演などを計画して下さい。

高十期 森本 幸治
校歌、学生歌、応援歌、此頃になってついつい口から出てきます。お迎へが近いのかねエ。歌詞？バッチリ!!

高十期 山口寿三枝（杉本 悦子）
いつも会報ありがとうございます。楽しみにしております。

高十一期 上野山眞杉
桜塚卒業後54年関学大卒業50年になりました。東京在住も45年を数えます。中学、高校、大学と同期会がありましたら何処にでも飛んで行きます。まだ10年位は問題なく動けると思っています。

高十一期 植野 和子（喜多）
いつも会報ありがとうございます。

高十一期 高橋 邦子（田中）
戦争末期の空襲の犠牲、修学旅行の阿

蘇山での悲劇、等々読ませて頂きました。世界の平和と安全を願うばかりです。

高十二期 阿部 佳隆
久しぶりに豊中ローズ球場へ夏高校野球を観戦。校歌が流れ、間違いなく老・若卒業生と思われる多くの桜高ファン、残念ながら母校は敗退。偶に後輩の活躍をみて元気づけられる。

高十二期 吉田 友子
母校部活の全国大会を夢みるOBよりお世話になります。よろしく願います。

高十二期 船木 澄子（小畑）
読みごたえのある会報でした。ありがとうございました。

高十三期 出良 樞夫
シニアカレッジに通い、ボケ防止の為、習い事に励んでいます。

高十三期 西村 建次（山脇）
母校の発展を祈っています。鳥取で元気にカウンセラーとして働いています。

高十四期 安達寿美子（伊藤）
恩露園、恵風苑の思い出。中二階の図書室から見下ろす恩露園、美術の時間アジサイを描きました。恵風苑は藤棚の下

高十四期 木谷 藤枝
の読書。緑一色で木漏れ日を描き、鶴崎先生に古風な絵と評された事。文化祭で山岳部が芝生にテントを張り、当時出始めのインスタントコーヒー（粉末）を振る舞った事などです。

高十四期 石岡 春子（山口）
94歳の母の介護は「負うた母に教えられ」の日々です。

高十四期 喜澤 治子（岸本）
いつも会報ありがとうございます。長野県斑尾高原でペンション秋桜を営んでいます。是非遊びにおいで下さい。スキーやトレッキング、避暑に良いところです。

高十四期 高橋 治子（岸本）
26・2・15高14期の古稀記念同窓会に出席し、懐かしいクラスメートとの語らいに、癒されました。行き届いた尚和会の皆様のご尽力に感謝。

高十五期 富士 凱彦
心待ちにしておりました「会報」、有り難うございます。楽しく、懐かしく読ませていただきました。年年レイアウト、内容、配色がすばらしくなっているように感じます。大畠会長、会報担当の方のセンスの良さが出ていますね。

高十五期 阿賀 久子（石原）
卒業50周年の同期会が10月12日に催され、なんと100名を超える仲間が集いました。みんながあの当時の高校生にもど

高十五期 奥野 栄子（加藤）
卒業50周年、これが最初で最後の同期会と思いましたが懐しい友と再会出来、5年後も元気で集えたらと願いました。準備して下さった方々に心から感謝します。

高十五期 山崎 恵子（川村）
尚和会役員の皆様、ご苦勞様でございます。いつの間にか古希が目前ですが変わ

高十五期 北野 洋子（貴田）
50周年の同窓会に参加出来、たくさんの方々とお会いして、おしゃべりを樂しめて、感謝しています。

高十五期 桐野江尚野（小西）
遅くなり申し訳ございません。いつも有難うございます。

高十五期 宮下 正子（新良）
今秋の15期生卒業50周年と古希を祝う同窓会を楽しみにしています。尚和会の役員の方々いつもごころうさまです。

高十五期 下出 順子（中野）
先日の15期会楽しませていただき有がとうございました。幹事の皆様お世話になりました。

高十五期 石田 暢子（川野）
同窓会出席出来ずいません。どうしても都合つきません。盛会お祈りしています。

高十五期 山本加代子（吉田）
いつもお世話になっております。古希を祝う会は残念ながら欠席させていただきました。ありがとうございます。

高十六期 渡邊 源治
アット言う間に1年が通りすぎて行きます。人間の一生もこんなものかなあ？

高十七期 金山 明彦
今年の目標クラシックのコンサート10回以上、箕面ヒルクライム1000回以上、年間走行6000km以上。

高十七期 福本 育馬
25年4月の第17期同窓会（参加者88名）の開催にあたって、大畠会長に適確なアドバイスをいただき感謝しています。桜塚の同窓の輪と絆が拡がりそして深まることを願ってやみません。

高十七期 増木 博
会報宜しく御願致します。

高十七期 稗田 和子（小島）
同期生と一緒にバスケットボール部のキャプテンを務めた稗田泰三と、結婚しました。17期の皆さん、4月7日の同期会のご参加ありがとうございます。

高十七期 柴田 俊子（神田）
いつも会報ありがとうございます。懐かしい昔を思い出すゝよすがにしております。

高十七期 稲野智恵子（前）
尚和会会報、毎年楽しみにしております。役員の皆様方にはお礼申し上げま

高十七期 奥村 幸子（松本）
尚和会役員の皆様、いつも本当にあり

がとうございます。桜塚高校愛してやみません。

高十九期 杉本 清一
二社の顧問と1才と3才の孫の子守で急がしく、仲々老後を楽しむまでには至りません。

高十九期 中村 芳樹
5／11日に19期の仲間5人で久しぶりに会食しました。

高十九期 松田 仁子（神野）
いつもありがとうございます。豊中の実家に帰る度、桜塚高校周辺を散歩して、懐かしんでおります。

高十九期 杉 明子（垂谷）
会報V01.061ありがとうございます。なつかしく、楽しく拝読させていただきました。

高二十期 石之 博和
いつもありがとうございます。多忙につきなかなか大阪に戻れません。

高二十期 山口 恭史
昨年は振込みを失念してしまいました。これも年のせいでしょうか……。

高二十期 河登 能子（北山）
母校クラブだよりをなつかしく拝見しました。文化的土壌の豊かな金沢に住んで30余年になりますが、桜塚美術部以来ずっと絵が私のライフワークとなっております。

高二十期 羽倉のり子（長井）
今年1月に小学校時の友と小学校へ高校迄一緒だった友と3人で南九州を旅行しました。友人の修学旅行のコースでしたが、楽しい2泊3日でした。新幹線を使ったのに結構ハードでした。

高二十期 木津 裕子（服部）
先日、豊中市役所へ、用事があり、行きましたが、ついでに、桜塚のあたりをウロウロしてきました。ちょうど、懐かしく思い出していた時に、会報が届き、やっぱり母校は、いいなと思ひ読みました。

高二十一期 岩井 角夫
ご苦勞様です。よろしく願ひします。

高二十一期 小松 友代（岩本）
表紙の大槌高校との交流試合、若さがみなぎって素敵です。

高二十二期 市野理枝子（市野）
しだれ桜を見に行きたいと考えております。いつも、ありがとうございます。

高二十四期 松野喜代子（浅野）
60才になり、老後の進路選択に、思い悩む日々。諸先輩方を見習い悔いなき決断をしたいと思っております。

高二十五期 武田 義彦
少子化、人口減などなんとか対応できる方法はないでしょうか。50年後の日本はどうなっているのでしょうか。

高二十五期 中島とも子（伊槻）
久しぶりの同窓会誌、懐しい同期生や先輩の名前を見つけて嬉しかったです。

高二十五期 野桜 玲子
いつも会報をありがとうございます。住所が変わりましたのでよろしく願います。

高二十六期 加古喜代美（高垣）
桜塚高校で卓球を始めて、40年経った今では、健康のためにPTAの卓球クラブで楽しんでいます！

高二十六期 池田真沙子（成田）
なつかしく読ませていただいています。読んでいるときは、気分は女子高生!! 卒業後、まもなく40年!!なのですが……。

高二十八期 薦田 順子（石田）
昨年は、会費を失念していたかも知れません。申し訳ありませんでした。

高二十九期 小林 佳代（小池）
お世話になり、ありがとうございます。

高二十九期 中尾 友香
平成25年11月24日に、夫、中尾（旧姓谷口）和之（高二十九期）が、食道がんのため、永眠いたしました。落語研究会では、桜家茶琲（チャッピー）の名で、親しまれていました。ここにお知らせ申し上げます。

高三十期 安達千恵子
震災を機にはじめたフリーマーケットの売上の寄付も3年になりました。これからも手作り品をつくって販売していく事をつづけていきたいです。

高三十期 廣瀬 嘉苗（三岡）
会報ありがとうございます。楽しく読ませていただきました。会報のおかげでなつかしい友と連絡を取ることができました。井上まさ先生、松宮達也先生のお名前もありとてもなつかしいです。

高三十期 安達 千恵子
今年も手作り小物をフリーマーケットで売って、その売上を義援金として送ります。私のライフワークです。

高三十一期 佐藤清一郎
会報ありがとうございます。在学中に創立40周年を経験しましたが、当時は何の感慨もありませんでした。でも、一昨年、親子3代が通った小学校の開校90周年にかかわり、歴史の重みを実感するようになりました。

高三十二期 室 佐和子
「しだれ桜」鑑賞会の連絡を頂きましてありがとうございます。当日を楽しみにしていましたが中止となり残念。次回を期待しています。

高三十五期 西田 千里（田村）
お世話になりました。誠にありがとうございます。しばらく高校時代の思い出からは遠ざかっておりましたが、会報を見てなつかしく思い出しております。

高三十五期 森本 智子（山田）
卒業30周年同窓会に参加して懐かしい友人に会えて楽しかったです。主催して下さった方々に感謝しています。

高三十六期 村上佳津子（真鍋）
大阪に生まれて大阪で育ったけれども、どうやらこのまま関東の住人になってしまいそうです。大阪人なのは変わりなしですけれどね。

高三十七期 松下 和子（中津）
4人の子どもの一番上が今春から社会人になりました。子育てから解放される

まだまだ若くないと……

高四十期 井原 真夢（加賀谷）
いつも会報ありがとうございます。最後のページに、入金のところ名前をまず見て、「いつも払ってた佐藤くん、どーした!」と心で叫んでしまいました。

高定七期 岸本 弘
貴校との御縁、我人生を大きく転進させて下さいましたこと感謝致しております。（和歌山県、由良衣奈中出身、海上自衛隊定年退官、現76歳）

毎日放送の我が家がテレビドラマのロケ地として放映。会報に掲載して頂き良い記念となり大変喜んでいきます。有難うございました。

高十七期同期会参加者一同
讚えなんいざとこしへの母、桜塚。尚和会の益々の充実・発展を心から祈っています。

「桜塚新聞」を探しています

昭和40年代、学生運動が激しかった頃、大学のみならず桜塚高校においても校内集会や、学校側との討論会等が行われておりました。
当時、桜塚高校には新聞部が存在し、おおいにペンを奮っていた様子です。しかし昭和も50年に入ると学生運動も下火となり、合わせるかのようペン力の存在も薄れていき、桜塚の新聞部も廃部となっております。
桜塚新聞には当時の時代、日々を語る記事が掲載されており、当時の出来事を掘り起こせる貴重な資料です。
思い出の箱とかに入ってませんか？
お持ちの方がおられましたらご連絡をお待ちしております。
なにぶん古い物ですので状態によっては郵送が不可能な場合もあります。
まずはご一報下さい。（連絡先は尚和会まで）

生まれ育った豊中で “ありがとうコンサート”

歌芝居 ルナ・ロッサ 夢一夜歌物語

平成26年5月31日(土) 午後 5時30分 開演 3,000円

ローズ文化ホール (庄内駅8分)



奥村 豊 (guitar, 編曲) & neo Japonica
[高校17期 軽音楽部]

ジャズ? シャンソン? それとも…艶歌?
美空ひばり、ビリー・ホリデイ、エディット・ピアフ
それぞれの国で懸命に生きた3人の歌姫達へのオマージュと
あの“昭和”を一人の役者が語り一人の歌手が歌う
軽妙なタッチで語りかけながら進めていく
オリジナル台本によるコンサート形式の歌芝居

【チケットお申し込み】 大川光治郎 tel.080-3466-6674 fax.06-6304-9191 kohjiro.ohkawa@gmail.com

★special thanks 同窓生有志実行委員会★

東京支部だより

平成25年度 活動報告

- I 支部役員会開催8回
- II 大阪本部総会、役員会、理事・評議委員会出席（支部長）8回
- III 主な活動
- ① 支部規約改正……支部最終案決定
「主な改正点」
イ 支部の範囲…東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃木、群馬、山梨、長野、新潟、静岡の1都10県
ロ 幹事⇒役員、幹事会⇒役員会
ハ 支部長の役割…本部総会、理事・評議員会への出席義務化
ニ 支部長の任期を1期2年とし、2期4年を限度とする
ハ 支部下部組織として部会の創設を可能とする。
（例）ゴルフ部、散策部などなど
- ② 会計基準、経理負担基準の制定……支部最終案決定
「主な点」
イ 平成25年度より本部と基本同じフォーマットに合わせる
ロ 会計年度を1年（4／1～3／末）とする
ハ 経費請求書兼受領書用紙作成、領収書の添付・保存
ニ 入出金の常時確認、チェック体制の整備
ホ 交通費実費のみ経費処理
- ③ 第8回（24／11）支部総会出席者・協力金賛助者（222名）への手紙発送
イ 発送…2013年10月20日
ロ 内容…挨拶状、尚和会会報拡大カラーコピー、現会員名簿にない新会員の紹介依頼、支部幹事募集お願い アンケート
ハ 34件の返信…別紙参照
- ④ 支部名簿の見直し
イ 起点名簿の作成…1569名
ロ 過去5年の本部援助金による期別同期会の提出名簿と現名簿との突合せ
本部に依頼…業者へ依頼済み
- ⑤ 第9回支部総会（2014／11／16予定）へのスタート……150名目標



支部長
高14期
北村 正和

お知らせ
第9回東京支部総会・懇親会のご案内
日 時：平成26年11月16日（日）
11時30分～15時00分（受付開始11：10より）
会 場：TKPガーデンシティ品川（前回と同じ）
「グリーンウィンド」ホール
東京都港区高輪3-13-3 SHINAGAWA GOOS 1F
03-5449-7300
JR「品川駅」高輪口より 徒歩2分
テーマ：「みんなで戻ろうあの頃に」
アトラクション（案）
◆桂吉弥 落語、語り
◆現役桜塚高校生徒のコーラス
―懐かしの歌を合唱―
「詳細は追ってご案内いたします」

平成26年度 尚和会東京支部 役員名簿

期	担当	氏 名 (旧姓)	電話番号
高14	支部長	北村 正和	045-881-7042
高14	副支部長	三住 勉	03-3630-0987
高17	副支部長	竹村 慶三	0467-86-1305
高17	会計	越智 秀樹	045-902-7660
高14	会計監査	上田 晶子 (山田)	045-812-8214
高14	幹事	菅原 祥子 (佐々木)	045-813-0468
高14	幹事	矢柴 宏江 (松原)	045-974-1345
高14	幹事	吉村 禎子 (古田)	0422-52-2396
高14	幹事	伊勢 隆敏	03-5605-1869
高17	幹事	笠原 健夫	047-392-0324
高18	幹事	河野 俊介	03-3886-4537
高20	幹事	石之 博和	042-464-7812
高20	幹事	長宗 輝真	03-3398-6335
高34	幹事	綿田 康嗣	045-544-9403

退 任

高11	25年度 退任	四本 隆成
高13		唐沢 昭
高13		田口 充宏

尚和会東京支部 平成24年度 決算報告

【収支決算】（自：平成24年4月1日 至：平成25年3月31日）

（単位：円）

科目	予算	決算	差引過不足	備考	25年度予算
収入の部	懇親会会費	—	651,000	—	総会・懇親会(93名×7000円)
	協力金	—	337,200	—	93名+129名=222名
	本部支援金	—	200,000	—	本部援助金(平成24年度)
	祝儀	—	15,000	—	
	利息収入	—	63	—	預金利息
	雑収入	—	0	—	
	計	—	1,203,263	—	
支出の部	事務費	—	50,506	—	事務用品・封筒代・プリンター・インク代 コピー代・宛名シール他
	通信費	—	139,765	—	案内状発送代・宅急便代・切手代他
	会合費	—	40,104	—	役員会会合費(役員会12回)・貸室代
	総会費	—	1,449,305	—	宴会費・楽器賃貸・軽音楽部生徒旅費
	支部同期会開催助成金	—	0	—	
	慶弔費	—	0	—	
	雑支出	—	1,365	—	振込手数料
	予備費	—	0	—	
	計	—	1,681,045	—	
1	差引当期収支	—	▲ 477,782	—	
2	前期繰越金	—	504,829	—	
3	(1+2)合計	—	27,047	—	
4	次期繰越金	—	27,047	—	

借方		貸方	
現金	2,195	—	—
郵便振替口座	16,920	次期繰越金	27,047
普通預金	7,932	—	—
合計	27,047	合計	27,047

以上、決算報告いたします。

決算に対し監査の結果、誤りの無いことを報告します。

平成25年3月31日

平成25年3月31日

会計(高17期) 越智秀樹 ㊞

会計監査(高14期) 上田晶子 ㊞

尚和会東京支部 平成25年度 決算報告・26年度予算

【収支決算】（自：平成25年4月1日 至：平成26年3月31日）

【平成26年3月10日現在 収支決算】

（単位：円）

科目	予算	決算	差引過不足	備考	26年度予算
収入の部	懇親会会費	—	0	—	総会・懇親会(平成26年度支部総会出席者130名×7000円)
	協力金	—	0	—	
	本部支援金(A)	—	400,000	—	本部援助金(A)(平成25年度)
	本部支援金(B)	—	—	—	本部援助金(B)(平成26年度支部総会出席者150名×4000円)
	祝儀	—	0	—	
	利息収入	—	42	—	預金利息
	雑収入	—	0	—	
	計	—	400,042	—	2,310,000
支出の部	事務費	—	45,716	—	事務用品・封筒代・プリンター・インク代 コピー代・宛名シール他
	通信費	—	36,880	—	案内状発送代・宅急便代・切手代
	会合費	—	145,210	—	役員会会合費(役員会7回)・貸室代
	総会費	—	0	—	総会・懇親会費
	支部同期会開催助成金	—	13,951	—	
	慶弔費	—	0	—	
	雑支出	—	1,596	—	振込手数料・支部総会写真代
	予備費	—	0	—	
	計	—	243,355	—	2,270,000
1	差引当期収支	—	156,687	—	40,000
2	前期繰越金	—	27,047	—	183,734
3	(1+2)合計	—	183,734	—	223,734
4	次期繰越金	—	183,734	—	—

借方		貸方	
現金	0	—	—
郵便振替口座	16,920	次期繰越金	183,734
普通預金	166,814	—	—
合計	183,734	合計	183,734

以上、決算報告いたします。

決算に対し監査の結果、誤りの無いことを報告します。

平成26年3月10日

平成26年3月10日

会計(高17期) 越智秀樹 ㊞

会計監査(高14期) 上田晶子 ㊞

平成26年尚和会新年会報告

高19期 副会長 大岩 正明

今年度の評議員会、理事会新年会は平成26年1月19日（日）ヒルトン大阪にて開催されました。

今年も厳しい寒さの中、50名の参加があり、会場は熱気で春が来たようでした。まず、大島会長の挨拶からはじまり、来賓の挨拶、各委員会の報告と続きました。

それから、吉田さん（元副会長）の乾杯で懇親会の開会となりました。

ヒルトン大阪の美味しいお料理とお酒をいただきながら昨年同様脳トレクイズ



各テーブルの老脳者が脳トレクイズの問題解析



も各テーブル老脳者を中心にした問題解析の共同作業を楽しんでいただきました。毎回高5期北之坊英美子さんより大変たくさんのおいしい景品をご提供いただき、皆様大満足でした。誠にありがとうございました。

閉会の辞は南副会長にて行われました。今年も「しだれ桜鑑賞会」「現役文化祭への出展」などの実施を致します。

このような取り組みを通して現役生徒が尚和会の趣旨、活動を理解し、卒業後も桜塚高校のために携わっていただくことを希望いたします。

教職員人事異動
平成二十六年度

全日制課程

●退職

理科 増田 伸 本校非常勤
保健体育 浅井 憲司 本校再任用
書道 長谷川伸子 本校再任用
養護助教諭 赤穂 由佳

●転任

事務部長 仲辻 昌造

社会 竹山 森夫 府教育委員会へ

数学 古森 秀昭 茨木西高校へ

●着任

事務部長 宮本 信治

社会 福山 敦子 府知事部局より

数学 川合 広祐 新採用

数学 坂本 辰典 本校定時制より

理科 西田 信夫

英語 市川 朝子 新採用

英語 栗村 杏実 阿武野高校より

NET Adams Benjamin Tyler 新採用

定時制 ●転任

国語 三村 勇貴 能勢高校へ

情報 片桐 亮太 北淀高校へ

英語 徐 慶介 枚方高校へ

数学 坂本 辰典 本校全日制へ

主査 橋本 秀昭 千里青雲高校へ

●着任

国語 乾 恒夫 池田高校より

英語 戎末理賀子 新採用

情報 西原 岳尼 新採用

情報 林田 有平 岸和田高校より

主査 谷口 博良 三島府税事務所より

平成二十六年度主な行事

校内理事 桑田 誠

在校生の元気な姿を見に来て頂きたい
く思います。

【全日制】

5月26日～6月13日 教育実習期間

6月5日（木） 体育祭

7月18日（金） 終業式

8月19日（火） 授業開始

9月14日（日） 文化祭

10月6日～9日 2年修学旅行

11月1日（土） 学校見学会

12月24日（水） 終業式

1月22日（木） 1年合唱コンクール

3月4日（水） 卒業式

13日（金） 終業式

【定時制】

5月17日（土） 遠足

6月16日～27日 授業公開

7月9日～17日 球技大会

8月29日（金） 授業再開

10月3日（金） 前期終業式

7日（火） 後期始業式

9月29日～10月14日 文化祭準備期間

16日・17日 文化祭

10月29日～31日 3年修学旅行

1月8日（水） 授業再開

1月14日～16日 送別行事

3月4日（水） 卒業式

13日（金） 終業式

平成二十五年物故者芳名

（平成25年1月1日～12月31日まで）

旧職 井須隆一郎 H25・7
真野昭三 H25・8
山本 弘 H25・1
高女1期 藤原美代子（西村） H25・5・14
森川津子（永田 和子） H25・12
高女5期 村瀬 方世（田中） H25
高女7期 岡本 愛子（堀尾） H25・3・3
高女8期 山本 華子（小山） H25・2・24
高1期 伊関美貴子 H25・3・17
池永 敏江（島田） H25・3・22
高2期 吉井 町子（宮地） H25・4・23
高3期 山浦 祐子（高坂） H25・10・8・10
戎 祐子（高坂） H25・10・10

平成二十五年に同窓会へ
連絡のいただいた物故者芳名

高女2期 橋口 純子
高5期 松浦 欣也
丸 睦子（森）
白田 貞子（岩原）
高6期 坂口 恭三
関口 富子（堅正）
津野田 鶴子（水内）
高10期 岡本 真男
中井 武敏
高15期 山下 常芳
浜 常芳
中島三千子（綾井）
高16期 吉竹 豊子（石村）
高17期 一岡 隆
内海 俊明
小笠原公彦
国沢 洋人
佐々木正己
田中 延洋
山中 武
福原 有里（佐藤）
土井 苑子
尾上由紀子（長野）
高33期 宮山 隆司（沢田）
古田 順子

北村 洋子（良本）

高4期 池上 武志

西島 幹雄

上島 豊子（福本）

吉森 初子（吉田）

伊藤 初子

高5期 中村 道子（岩崎）

橋本喜久子（笹部）

高6期 小塩 正人

高8期 貴田 曙寛

野田 寛

日山 義明（安治川）

黒田トシ子（大川）

浜村 恵子

高12期 不可三克義

高13期 相原 茂雄（古川）

高29期 中尾 和之（谷口）

山口 道子（田中）

H25・11・18

H25・12・4・1

H25・7・23

H25・10・31

H25・7・23

H25・10・31

H25・11・19

H25・12・8

H25・12・8

H25・4・8

H25・6・30

H25・1・5

H25・10・6

H25・5・9

H25・9・9

H25・2・18

H25・2・18

H25・12・11

平成二十五年 度 会報代・協力金

◆協力ありがとうございました◆
(金額は納入合計額)

千円	●旧職	居附ふじ子	山本小夜子	匿名	大島 澄子	三箇山 政	高幣 つた
		長尾 和栄	栗栖 恭子	伴野 彰子	桐山 悦子	大西 ヒロ子	
三千円	●高女5	清水喜美子	渡邊 光一	越智 秀樹	永井 徳子	一万一千円	
		根岸 光明			大西 ヒロ子	一万一千円	
三千円	●高女2	石橋 三彦	加藤 勇	中島 絃	久保 順	森 利子	
		吉本喜代子	上山 望	西 真知子	菅瀬 方世	増田トシ子	
三千円	●高女1	荒西 克招	赤羽根充男	城 治明	菅原 秋子	清水 成子	
		相澤 昂	武田三千雄	山本 孟	竹内 宣子	梶山 京子	
四千円	●高女6	関谷 茂紀	美濃部 道	田中 和子	長岡 郁江	杉山 玉緒	
		弓庭 勇	長瀬 尚	西郷 正人	岡澤 敦子	林 和氣	
五千円	●高女4	中村 仁彰	高岸 芳郎	田中 繁美	阪本 陽子	藤本 芳子	
		井上 まさ	宇野 仁策	西郷 正人	阪本 陽子	藤本 芳子	
六千円	●高女3	岡崎 博哉	水田 紀久	林 茂幹	宮野 信子	谷 千枝子	
		阿曾 久子	岡本千代子	普勝美代子	佐田 悦子	川野 悦子	
七千円	●高女2	安孫子恒子	松井 信子	芝 喜美子	佐田 悦子	川野 悦子	
		鷺井 節子	北江 淑	松井 敏子	佐田 悦子	川野 悦子	
八千円	●高女1	山本 紀子	川原由多子	中村 徳子	矢口美代子	伊藤富美子	
		安達 輝子	福田 せつ	福田 英子	矢口美代子	伊藤富美子	
九千円	●高女2	富田 睦実	福田 英子	福田 英子	阿部 悦子	大森 英子	
		立石 房	福田 英子	福田 英子	阿部 悦子	大森 英子	
一万円	●高女3	丹田 寧子	武藤千代子	藤田 初枝	古澤 純子	太田垣準子	
		吉岡萬里子	樋口由貴恵	越水 ユリ	古澤 純子	太田垣準子	
一万一千円	●高女4	越水 ユリ	藤田 初枝	藤田 初枝	古澤 純子	太田垣準子	
		越水 ユリ	藤田 初枝	藤田 初枝	古澤 純子	太田垣準子	
一万二千円	●高女5	君塚 節子	松岡 貞子	山田 寿子	青木 操子	岩谷 冴子	
		角山 和子	北川富美子	小山田鶴子	青木 操子	岩谷 冴子	
一万三千円	●高女6	上脇眞佐子	伊藤千恵子	須川 純子	須藤 和子	須藤 和子	
		堀田 清子	伊藤千恵子	須川 純子	須藤 和子	須藤 和子	
一万四千円	●高女7	堀野 順子	藤井 寿子	下田 純子	佐藤 盈子	佐藤 盈子	
		別所 陽子	藤井 寿子	下田 純子	佐藤 盈子	佐藤 盈子	
一万五千円	●高女8	河合 信代	樽谷 君子	亀本 正子	田中 素子	山口 道	
		道味 タミ	樽谷 君子	亀本 正子	田中 素子	山口 道	
一万六千円	●高女9	藤井千鶴子	西谷 静枝	鳴海 靖子	寒川 蓉子	渡辺 和子	
		猪瀬 綾子	西谷 静枝	鳴海 靖子	寒川 蓉子	渡辺 和子	
一万七千円	●高女10	渡辺 玲子	新野 敏恵	吉野 鈴子	富田 恭子	出口 珠子	
		森 玲子	新野 敏恵	吉野 鈴子	富田 恭子	出口 珠子	
一万八千円	●高女11	藤井 静子	河野 敏子	水井伊都子	富田 恭子	出口 珠子	
		豊原 弘子	河野 敏子	水井伊都子	富田 恭子	出口 珠子	
一万九千円	●高女12	富川 愛子	吉澤 幸子	佐伯 栄子	富田 恭子	出口 珠子	
		西村 照子	吉澤 幸子	佐伯 栄子	富田 恭子	出口 珠子	
二万円	●高女13	高野 洋子	阿部 陽子	佐藤 春子	細見 彰子	三木 幸子	
		高木志恵子	阿部 陽子	佐藤 春子	細見 彰子	三木 幸子	
二万一千円	●高女14	石田 咲子	山田 綾子	武田 昌恵	木下千代子	賀須井幸子	
		小倉 澄子	山田 綾子	武田 昌恵	木下千代子	賀須井幸子	
二万二千円	●高女15	阿部 節子	政治家喜代野	柳生美津子	柳生美津子	岸本賀久子	
		江本美代子	政治家喜代野	柳生美津子	柳生美津子	岸本賀久子	
二万三千円	●高女16	関司 真子	長岡 利子	津川 敏子	大岡いく子	島谷恵美子	
		稲益智恵子	長岡 利子	津川 敏子	大岡いく子	島谷恵美子	
二万四千円	●高女17	木本 裕子	森田みどり	齋藤 道子	山口 聡子	宮本美智子	
		桑原 茂子	三原 節子	岡部 佳子	五歩一 禮子	宮本美智子	
二万五千円	●高女18	佐藤有紀子	杉原 笑子	酒井百合子	喜井智恵子		
		池長十三子					
二万六千円	●高女19	広谷 晴子	上山満智子	紀田 久子	安村須美恵		
		高木三和子					
二万七千円	●高女20	中山 文子	鷺埜 昭子	梶田 保子	小川 尚子		
		上田 良子	豊田 佳子	中野 昭子	小川 尚子		
二万八千円	●高女21	山田 嘉子	加藤 愛子	戸梶 愛子	堀垣 恭子		
		野村 ミエ					
二万九千円	●高女22	松岡 昭代	合原 正枝	朴木 明石	坂本 芳子		

[illegible]

●高50 千円	小松 雄一 加藤 智子	原田 功造 木村 幸世	山本 竜
●高52 千円	田中 宏樹 田中 良子	戎野由美子	大塚 圭子
●高53 千円	馬越 有香		
●高54 千円	平野 宏明	大河原由梨	恒田 麻実
●高55 千円	緑谷 知 大石 誠悟	山内 淳	
●高56 千円	小澤 剛司 平井健一郎	片木 孝徳 原田このみ	馬場 達也
●高57 千円	平野 亜季 松葉 悠子 下飼 英明	田平 暁亘	伴野 聡美
●高58 千円	片芝麻里奈 内田 智之	直江 恵	
●高59 千円	小清水勇也	吉村 慧美	
●高60 千円	藤井修太郎 林江 直也 八木 詩織	北山 翔子 行村 友哉	中川 友貴 樂木瑠里子
●高61 千円	増田 章		
●高62 千円	中崎 勇 高山 祐紀 榊井 恵	中村 剛浩	兼定 祐里
●高63 千三百一十円	榊井 研人 関山 和浩 明山 朝美	北野 豪	土佐 史章
●高64 千円	兼定 一晃 井上 綾司 江田 司	植田 智大 小松 潔 角南 未栄 寛修	奥田 匡 松本 卓馬 田中 夏未
●高65 千円	大澤 司 岩本 潮美 白石 華蓮 林田有紀子	川畑 知也 冲本 梓 友國 葵 森 美菜 畑中 翔太	北西 豊 金光 杏佳 西 詩織 若園 奈央 井本那津子
●高定4 千円	林 美美子 山田喜久子		
●高定5 千円	生貝 政徳		
●高定6 千円	高田 武雄		
●高定7 千円	磯邊 延宏 木田 隆幸 野口 勝	宮井末次郎 塩田 廣一	高田美代子 高取 保夫
●高定7 千円	長澤 寿一 見方 昌子	紅山 英世	藪内 省吾
●高定7 千円	月川 憲一	諸井 清二	佐藤多美代

[illegible]

各種電子機器（半導体製造・計測・制御・データ伝送等）の装置の販売
及び先端技術応用システムの開発を通じ、お客様のニーズにお応え出来
る技術と信頼の会社です。

新日本電工株式会社

代表取締役 小柳大吾（高15期）

創立 昭和27年（1952年） 資本金 1000万円

本社所在地	〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満2丁目6番8号(堂島ビル6階) TEL：06-6363-2001(代表) FAX：06-6365-8946
工場所在地	〒574-0014 大阪府大東市寺川4丁目8番26号 TEL：072-871-3471(代表) FAX：072-871-3326
ホームページ	http://www.snd.co.jp/ http://youtu.be/Hqa1979ERbw

PCからのコントロールで簡単操作！

●動作状況（電圧・電流値etc）のチェック ●コントロール（倍率・フォーカス・コントラスト・明るさ）



<http://www.snd.co.jp/>

安心をみえるカタチで…

スマートベクレルカウンター

空間線量だけでなく、食品や土壌などの放射線量をベクレル(Bq)/kg単位で測定できるのが「スマートベクレルカウンター」。安全な食卓をあなたに。

あなたの身近な放射能量

あなたは**把握**していますか？

国立大学との
共同開発商品

<http://www.smd-sbc.com>

	高女 1期～ 8期	併中 1期～ 2期	高 1期～ 66期	定 1期～ 64期	定通併修 1期～ 14期	旧職員	現職員	現職員 (定時制)	合計
会 員 数	2,062	229	28,901	4,491	146	840	55	37	36,761
物 故 者	515	18	987	120	0	189	0	0	1,829
住所不明者	333	45	8,220	2,440	37	253	3	0	11,331
住所判明者	1,214	166	19,694	1,931	109	398	52	37	23,601
判 明 率	83.4	80.3	71.6	45.7	74.7	69.9	94.5	100	66.6

尚和会会員数
(単位・人)



The Colour of Future



URL : <http://www.turner.co.jp/>
[facebook.com/turner.colour.works](https://www.facebook.com/turner.colour.works)

ISO 9001 認証取得

明日の色をつくる……

9-1-1 色彩株式会社

代表取締役社長
地平 宏

本社 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2-15-7
TEL:(06)6208-1010 FAX:(06)6208-1014

東京支店
TEL:(06)6308-1212 FAX:(06)6308-1044
〒171-0052 東京都豊島区南長崎6-1-3
TEL:(03)3953-5161 FAX:(03)3953-5153

平成二十五年度総会・懇親会

行事担当副会長 高校15期 南 正枝

平成二十五年度総会・懇親会は五月十九日(日)にホテルアイボリーにて開催されました。

来賓、会員、アトラクション参加者を含め、東京支部長もお越し下さり、92名のご参加をいただき大盛会の中に開催されました。

最初に、お世話になりました旧職員、同じ学び舎で青春を過ごされた同窓会の物故者に対して出席者全員で黙祷を捧げました。

最初に大畠会長の挨拶、続いて加藤校長から、ご祝辞を賜り、高校の区域別がなくなり大阪府内どこからでも入学出来るように変っていく事についての意欲をおはなして下さる中、より素晴らしい桜塚高校にしていきたい等のおはなしを語って下さいました。その後各委員会の事業計画、二十四年度決算報告、二十五年度予算報告、そして昨年に引き続きの役員紹介を大畠会長からいただき、あと少しの質疑応答があり無事総会は終り、後半のアトラクション、懇親会へと移りました。

アトラクションは今年桜塚高校を卒業されました軽音楽部による演奏、特に彼等は岡町商店街の歌を作詞作曲されました。それは商店街の活性に確かにつながっていると思われます。又、それをテレビでも紹介されたことがあります。

そして、我々にとってはなつかしい歌、数曲京都の恋、上を向いて歩こう等を披露して下さいました。もう一つ

のアトラクションは57期生の柴田綾さんのとんぼりエンジェルによる大阪色の濃い歌、「新たなこやきの歌」他、コント等楽しいバラエティショーを披露して下さいました。昔をおもいだしながら会場一杯、楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

引き続き懇親会がなごやかに始まり皆さん、久しぶりの旧交を温め、食事と会話を楽しんでいただきました。

お楽しみ抽選会の後、最後に会場一杯に校歌を斉唱し、改めて桜塚高校の卒業生である事を誇りに思い全員記念撮影をして閉会いたしました。

さて、平成二十六年度の総会は本年五月十八日(日) ホテル・アイボリーで開催いたします。今年のアトラクションは、桂米朝一門の桂吉弥さんがおこし下さいます。

二・三〇分の軽妙な落語をきかせて頂けると幸いです。一緒に、写真、サイン等も可能かと思われそうですので、きっと楽しいひと時を過ごしていただけると思いますのでお友達をお誘いあわせの上、一人も多くご参加下さいますよう、よろしくお願い致します。



高57期 柴田 綾さん



前小山校長を囲んで



軽音楽部へ加藤校長から花束贈呈



大畠会長挨拶



東京支部長 北村正和氏(右端・高14期)も出席



とんぼりエンジェル



編集後記

今回から広報委員長を務めることになりました。

初めてのことはばかりで慣れない作業の中、会長ほか役員の皆様にご協力をいただき何とか発行することが出来き、少し肩の荷が下りたようです。

「しだれ桜鑑賞会」は昨年暴雨のため中止されましたが、今年は午前中は少し肌寒い天候で、午後はよい天気になりました。200名以上の来場者でにぎわいました。

軽音楽部、茶道部、箏曲部のおもてなしや正門付近の満開の桜や学校の中とは思えない落ち着いた空間の恵風苑、恩露園などを鑑賞いただき皆様大満足の笑顔で帰路に着かれました。

来年度は事前PRを充実して、多くの来場者に見ていただきたいと思っています。

会報作成にあたり、会報代、協力金振込用紙の通信欄に込められた皆様のお便りと呼んでいると会報を楽しみにされている思いが伝わってまいりました。

この思いをいつも忘れずに今後も広報活動に取り組みたいと思います。

これからも皆様のご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

また、創立80周年に向けて「創立80周年記念事業委員会」を立ち上げたいと思います。

現役生徒、OB、OG、先生などいろいろの方にご参加いただきたく存じます。

時間をかけて、今後の桜塚高校、尚和会のあり方について議論を重ね、よりよい事業を展開してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

最後に、心のこもった多くの原稿をお寄せいただきました皆様に、紙面をお借りして御礼と感謝を申し上げます。

高19期 副会長 大岩正明 (広報担当)